

近代政治思想

☆政治学：絶対主義と近代的主権国家の成立を理論化。

¹ 説：王権は王の祖先が神から授与されたとする政治理論。

仏² ボーダン：ユグノー戦争の惨禍をみて、国家主権の絶対と国民和解を説く。

仏² : ルイ14世の教育係。神学理論でブルボン朝絶対主義を擁護。

³ 思想：人間の生存権を保障する超越的な法を想定。（⇨ストア派）

蘭⁴ : オランダ独立戦争、三十年戦争の惨禍から、国際法の必要を論ず。

『海洋自由論』、『⁵ 』(1625)。“国際法の父”。

⁶ 説：人民相互の契約による国家の成立を説く政治理論。

英⁷ : 清教徒革命で仏へ亡命中に『⁸ 』(1651)を発表。

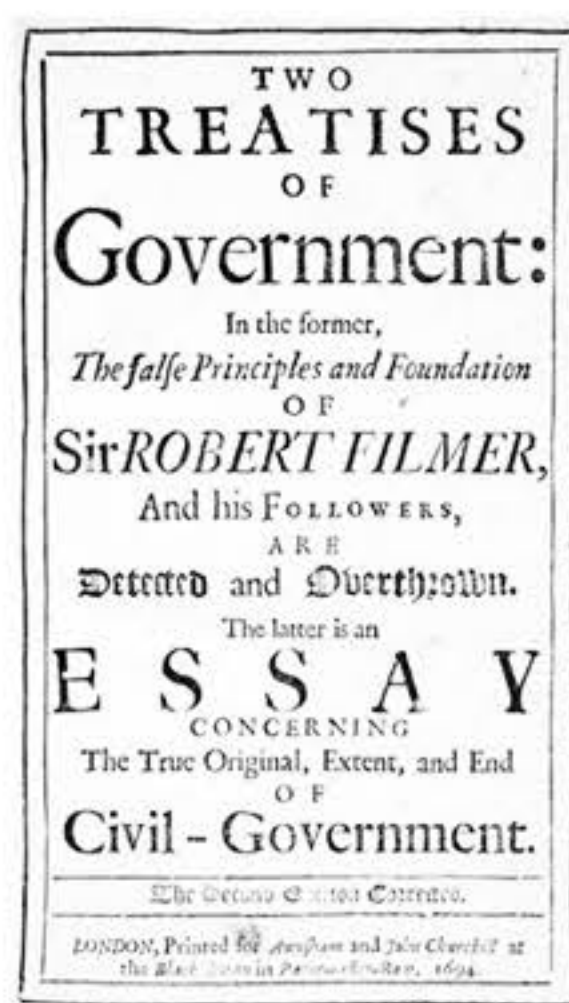
“万人の万人に対する闘争”回避のため、国家権力の絶対を説く。

英⁹ : 蘭に亡命、名誉革命で帰国。『¹⁰ 』(1690)を発表。

人民の革命権を主張して名誉革命を擁護。（⇨アメリカ独立宣言）



▲『リヴァイアサン』



▲『統治二論』

・人々を外国人の侵入や相互の侵害から防衛し…安全を保証しうる共通の権力を樹立するためのただ一つの道は、すべての権力と強さを一人の人間に、または多数意見により意思を統一できる人々の合議体に与えることである。…こうして一つの人格に統一された群衆は、共同体(コモンウェルス)と呼ばれる。…この人格を担う者は主権者と呼ばれ、主権的権力をもつ。他の者はすべて彼の臣民となる。(ホッブズ『リヴァイアサン』)

・長期にわたる一連の悪政や言い逃れや策謀が、すべて皆同じ方向をたどり、支配者の企みが明らかなものとなれば…人民が決起して、最初に政府を樹立した時の目的を確保してくれそうな人々の手に支配権を移そうとするのは、不思議なことではない。この目的が確保されていなければ、どんなに由緒ある王家の名も、外見だけは立派な統治の形態も、自然状態や全くの無政府状態に勝るどころか、むしろそれより劣る。(ロック『統治二論』)

近代政治思想

1 王権神授

2 ボシュエ

3 自然法

4 グロティウス

5 戦争と平和の法

6 社会契約

7 ホッブズ

8 リヴァイアサン

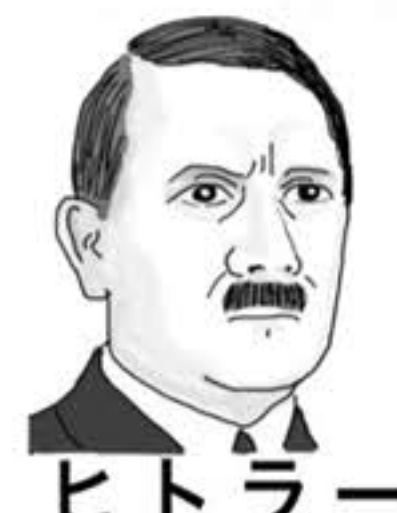
9 ロック

10 統治二論



フェリペ2世

異端者は、
火刑に処す。



ヒトラー

ニュルンベルク法
(1935)制定。ユダ
ヤ人の市民権を剥
奪、強制労働。



オラニエ公

王命を拒否。
オランダ人の
側に立ち、反
乱を起こす。



アイヒマン

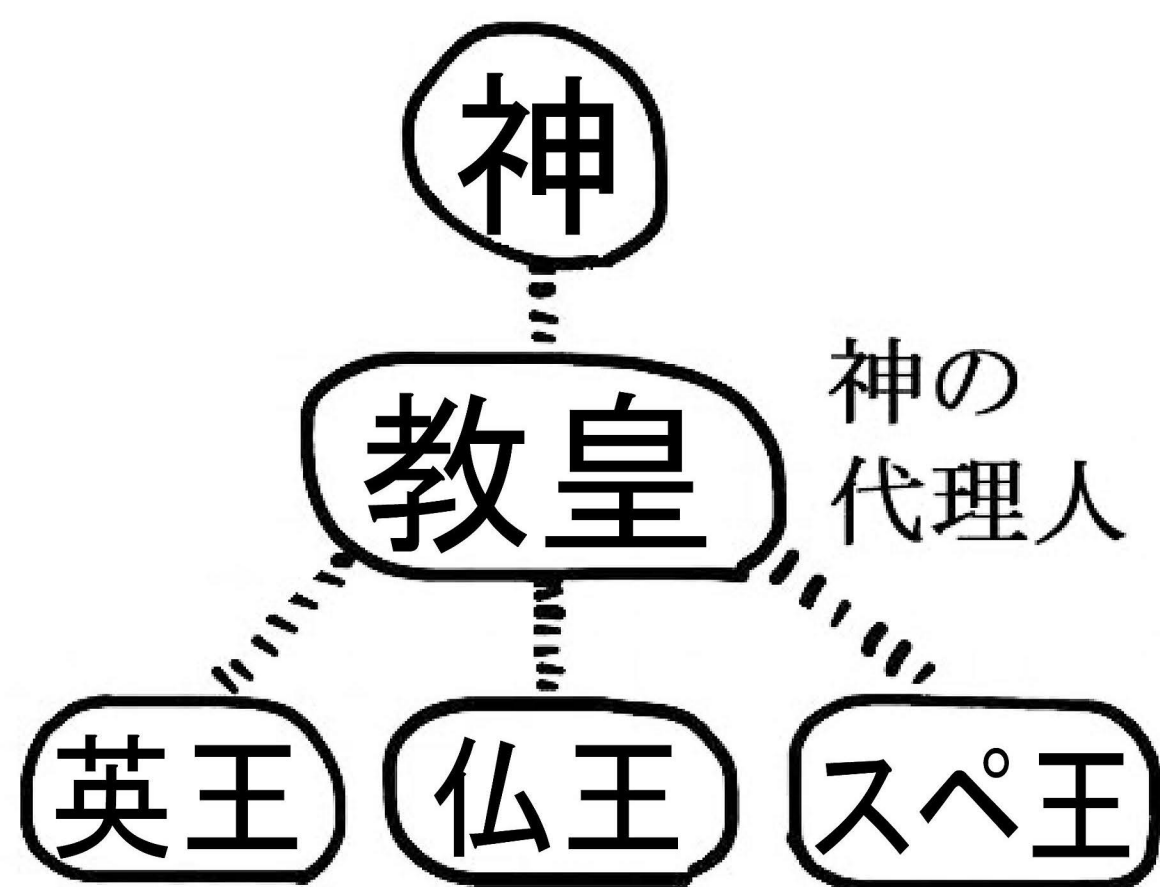
ナチス親衛隊の
幹部。ユダヤ人
移送の責任者。

オランダ人

ユダヤ人

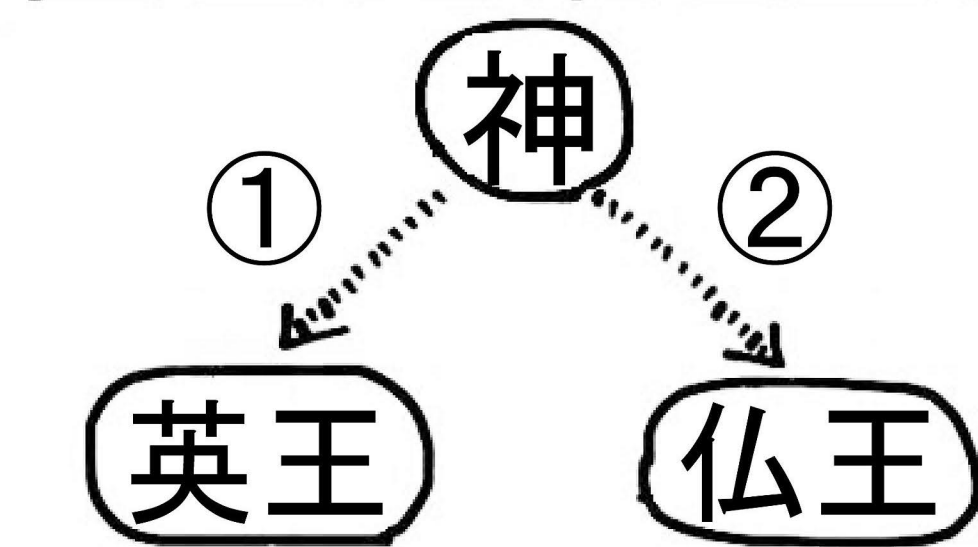
☆ 弾圧

カトリックの国家観



教皇は普遍的権威。
王権はその下にある。

国王主権と王権神授説



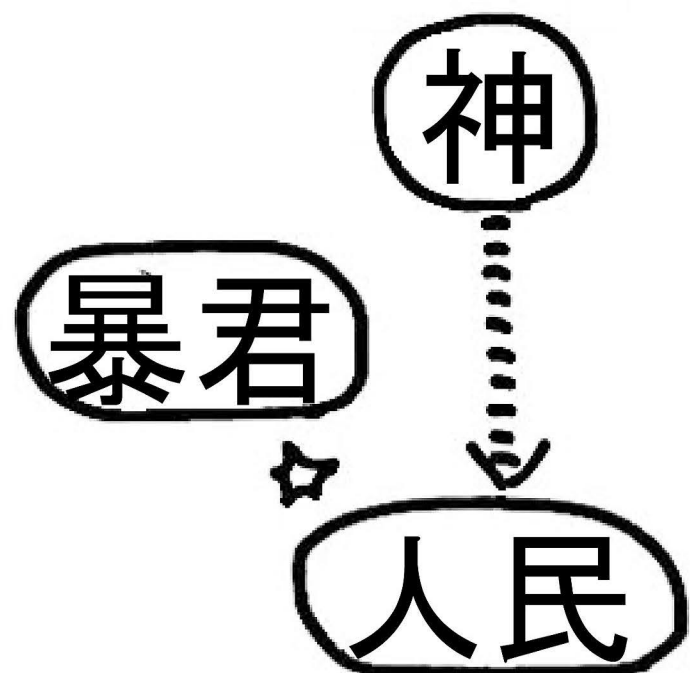
王権は神から直接
授与された絶対的な
権力(主権) Sovereignty

- ① 英国教会(アングリカン)
=チャーチ
・ヘンリ8世の首長法(1534)
・エリザベス1世の統一法(1559)
- ② ガリカニスム(ガリア教会)
・フィリップ4世のアナーニ事件(1303)
・ボシュエの王権神授説



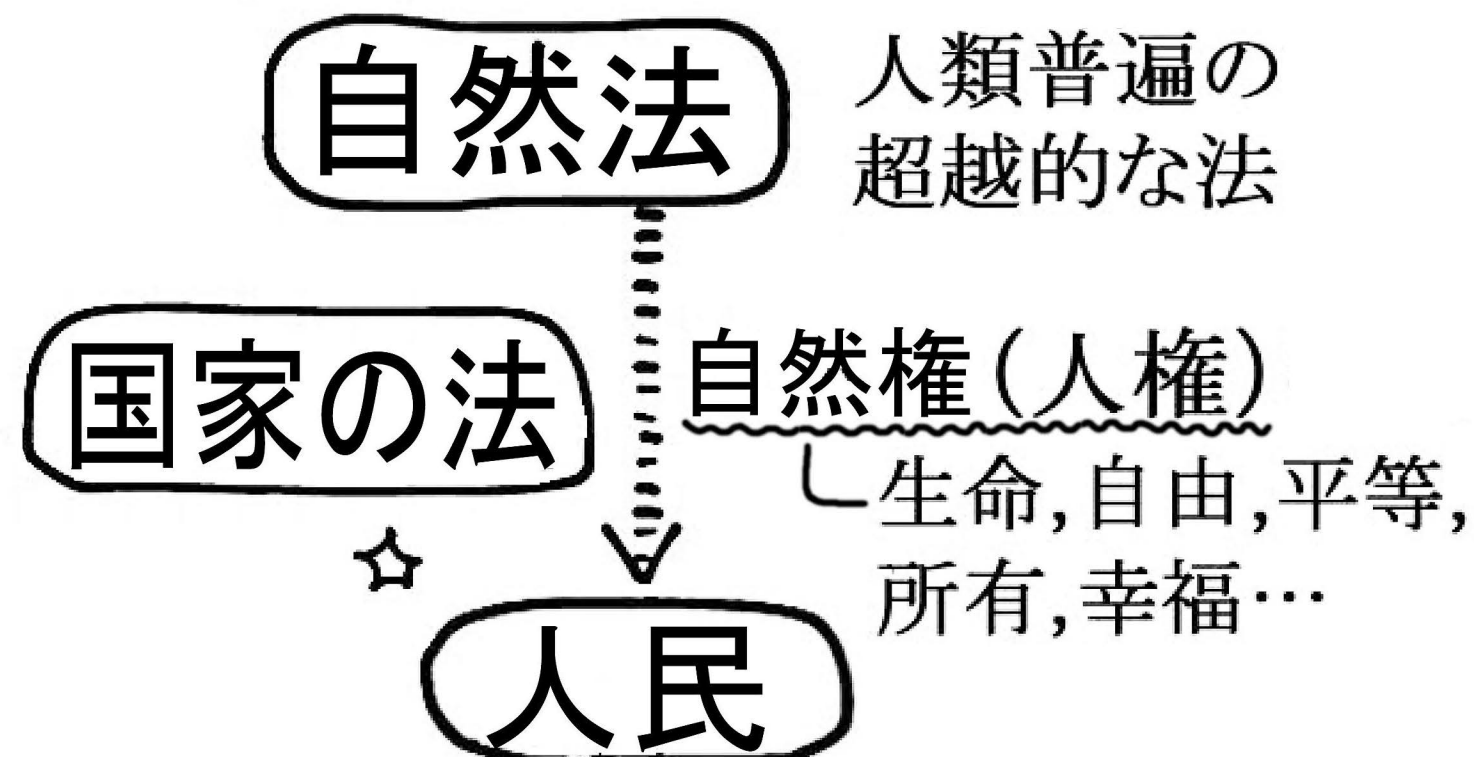
☞ ボータン
ユグノー戦争中、
国王主権を唱える。

カルヴァン派 の国家観



暴君の迫害に対し、
人民が抵抗するのは
神が認めた権利。

自然法思想



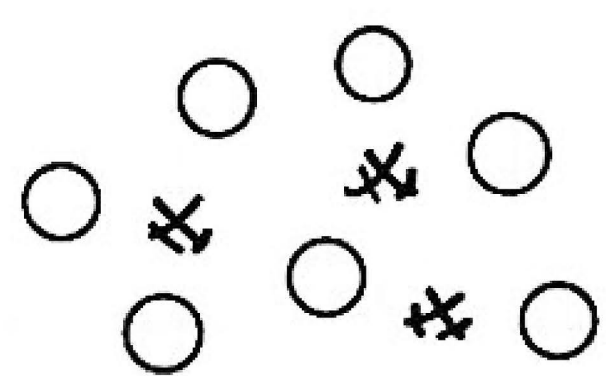
- ・国家の法が自然権を脅かす場合、
人民はこれに抵抗できる。
- ・国家も生存権を守るため武装できる。
⇒戦争被害を緩和するため国際法が必要。



蘭 グロティウス
三十年戦争中、
『戦争と平和の法』
で国際法の制定を、
『海洋自由論』で
公海の自由を説く。

社会契約説…自然法思想から国家の成立を説明する。

(1) 自然状態

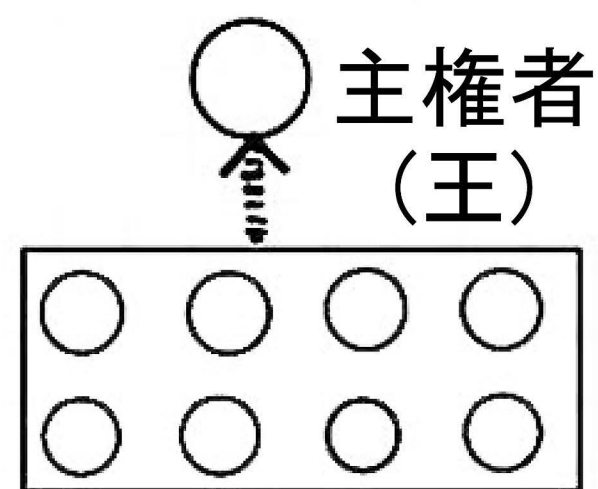


各人が自然権を
守ろうとして抗争。
「万人の万人に
対する闘争」

① ホッブズ『リヴァイアサン』(1651)

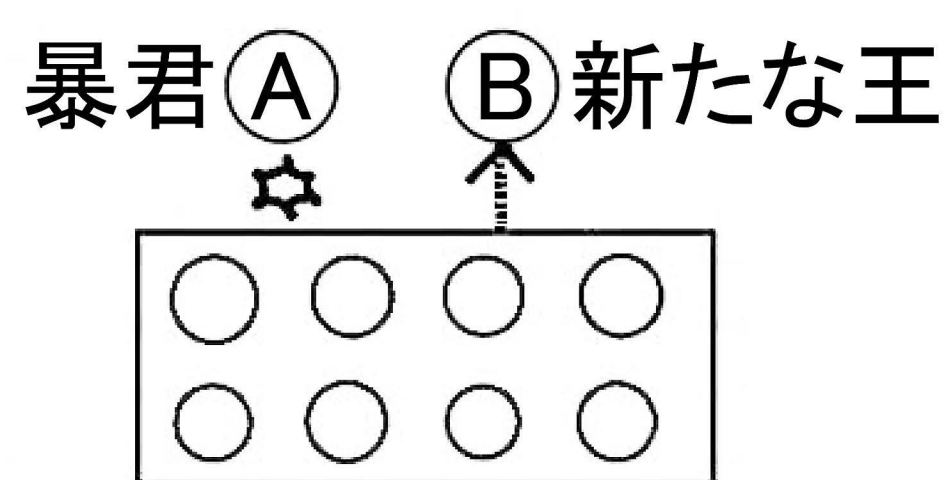
- ・平和の維持のため、主権者は絶対権力を持つ。
- ・チャールズ2世の王政復古を擁護。

(2) 社会契約



人民相互の契約で
主権者(王)を選び
平和を実現した。

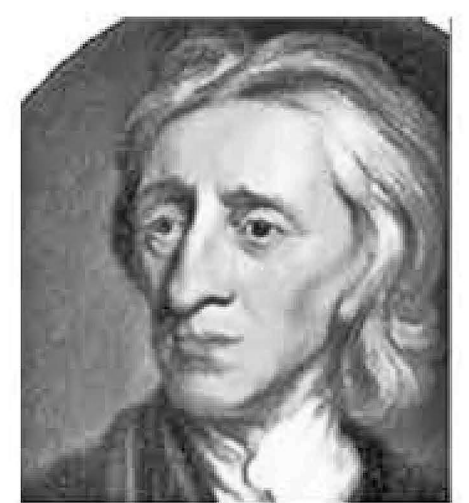
(3) 抵抗権



暴君Aが自然権を脅かす場合、
人民はこれを廃し、新たな王B
を立てることができる。

② ロック『統治二論』(1690)

- ・王権神授説は誤り。人民は抵抗権を持つ。
- ・名誉革命(1688)によるウィリアム3世即位を擁護。
⇒米独立宣言(1776)、フランス人権宣言(1789)に影響。



英 ロック
『統治二論』で
名誉革命を擁護。

問 イギリス革命期の政治
思想について、以下の語句
を用いて90字以内で説明
しなさい。
ジェームズ1世
『リヴァイアサン』
名誉革命

アメリカ合衆国の独立

☆ 13植民地：国王特許状により建設。総督と、植民地議会(住民代表)が対立。

1756-63 ¹ _____ 戦争⇨財政難に苦しむ英が、**重商主義政策**を強化。新たな課税も。

- (・² _____ 法(64)：西インド諸島から13植民地への密輸を厳禁。本国商人を保護。
- ・³ _____ 法(65)：すべての出版物に課税⇨激しい抗議行動を招き、翌年、撤廃。

1765 **パトリック=ヘンリ**のヴァージニア決議：“⁴ _____ なくして課税なし”の原則。

⇨本国はこれを拒否。紙・ガラス・茶にも輸入関税(67 **タウンゼント関税法**)。

1773 ⁵ _____ 法：東インド会社に植民地での独占販売権を与え、密貿易を厳禁。

⇨⁶ _____ 事件：マサチューセッツ植民地で茶法に抗議 英軍、同港を封鎖。

74- **大陸会議①**：⁷ _____ で開催。本国との通商断絶、課税拒否。

1775-83 **アメリカ独立戦争**：ボストン近郊、⁸ _____ (コンコード)の戦いで勃発。

75 **大陸会議②**：⁹ _____ (⇨初代大統領)を植民地軍総司令官に。

- (・**忠誠派**(ロイヤリスト)：英領にとどまり、自治権と貿易の自由のみを求める。
- ・**愛国派**(¹⁰ _____)：独立要求(⇨¹¹ _____ 『**コモン=センス**』)

1776. 7. 4 **独立宣言**：¹² _____ が起草(⇨¹³ _____ 『**統治論二篇**』)。

・**基本的人権、社会契約説**、¹⁴ _____ 権を明記。国王ジョージ3世の暴政を列挙。

1777 ¹⁵ _____ : 13植民地が連合、アメリカ合衆国 the United States を結成。

☆**義勇兵**：仏の貴族¹⁶ _____、ポーランド軍人¹⁷ _____ が参戦。

1777 ¹⁸ _____ の戦い：英軍が大敗⇨駐仏大使¹⁹ _____ が参戦を説得。

78 ²⁰ _____ (両ブルボン家)の参戦：アメリカ合衆国を承認。

⇨英は米を海上封鎖し、中立国の船舶を臨検。

80- ²¹ _____ **同盟**：英の海上封鎖に対抗。

：ロシア皇帝²² _____ が提唱。

⇨普・スウェーデン・デンマーク・ポルトガルが加盟。

⇨オランダが参戦：英軍の臨検に反発。

81 ²³ _____ の戦い

：米・仏連合軍が英軍に大勝。独立戦争終結。

1783 ²⁴ _____ 条約：米と英が講和。

(英と仏・スペイン間ではヴェルサイユ条約)

①英はアメリカ合衆国を承認。

②英⇨米：²⁵ _____

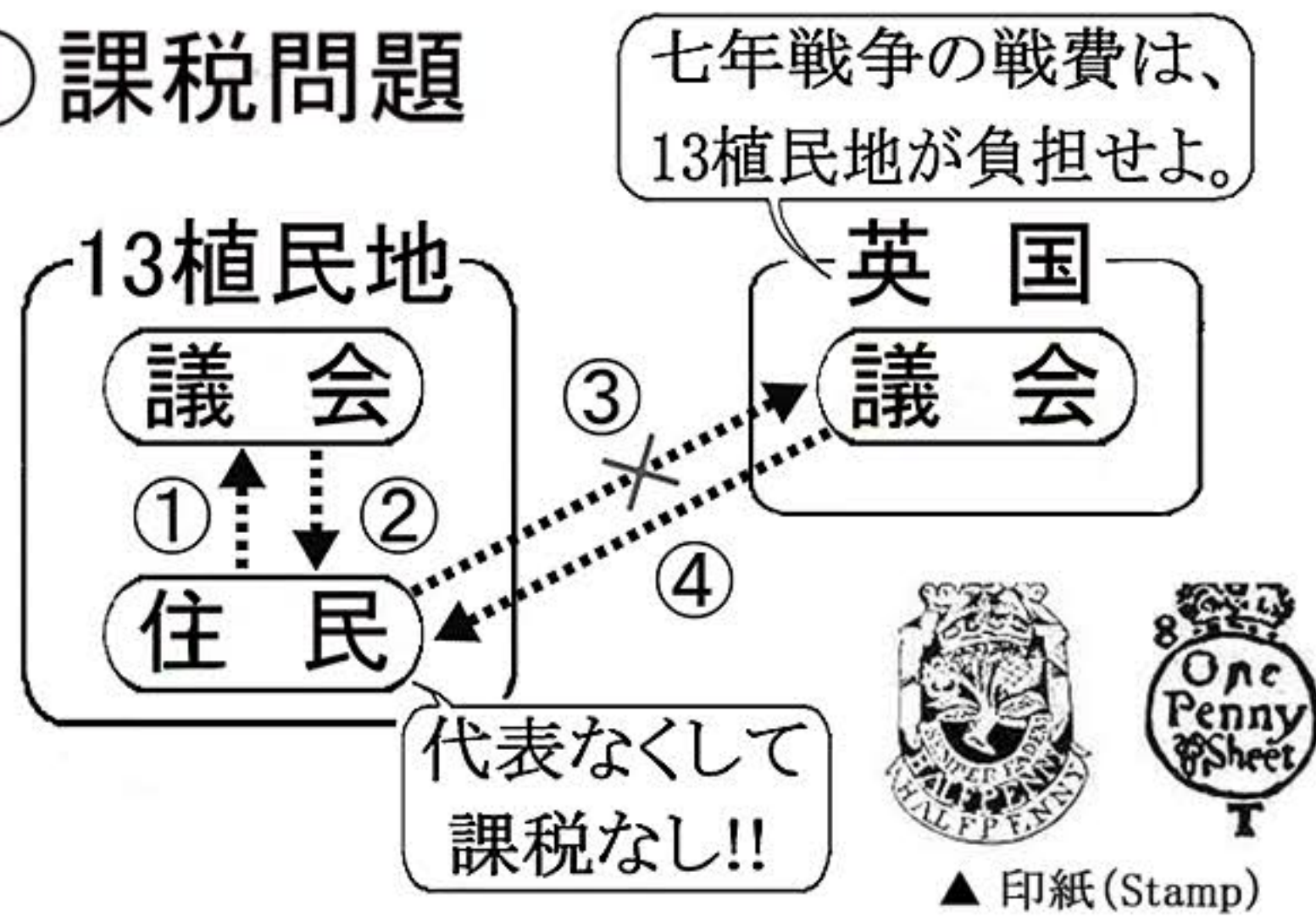
③英⇨仏：セネガル(西アフリカ)

④英⇨スペイン：²⁶ _____



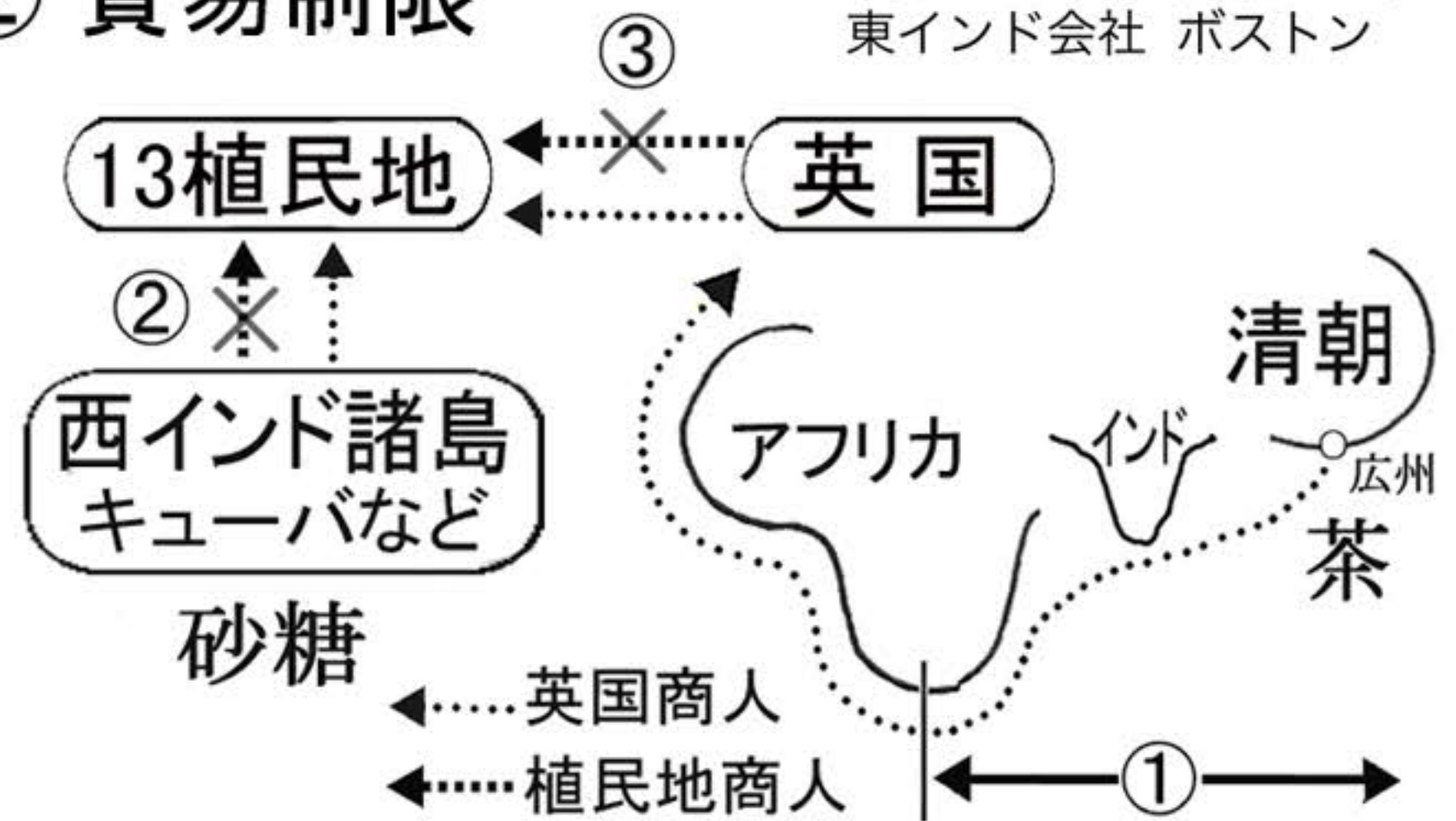
アメリカ独立戦争の背景

① 課税問題



- ① 選挙 ② 課税 ③ 選挙権なし
④ ¹ (1765)による課税

② 貿易制限



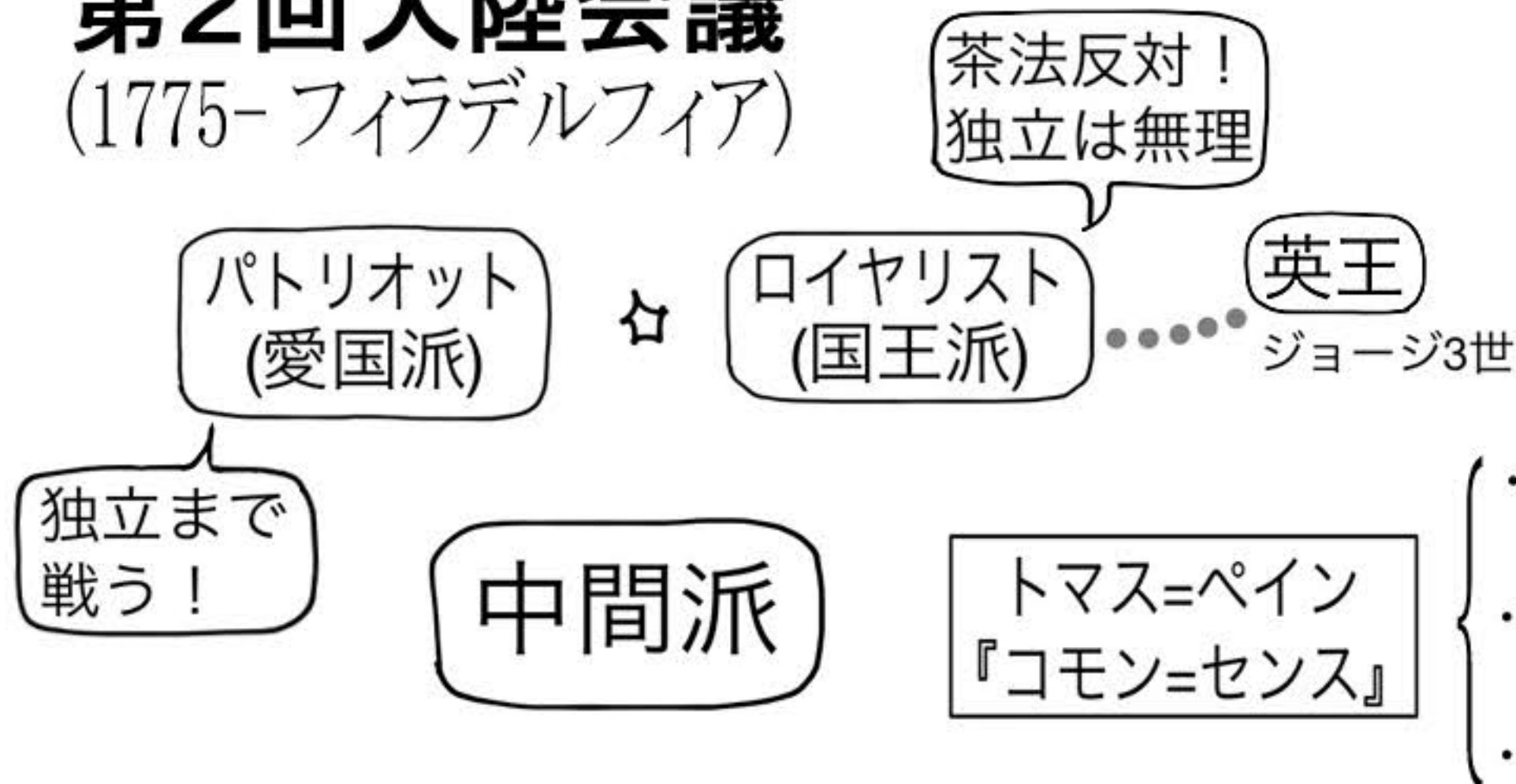
- ① ² の貿易独占権
…エリザベス1世が付与(1600)
② ³ (1764) } 高関税で
③ ⁴ (1773) } 貿易制限

(解答)

1 印紙法 2 東インド会社 3 砂糖法 4 印紙法

第2回大陸会議

(1775-フィラデルフィア)



- ・英本国政府は13植民地住民の自然権を脅かしている。
- ・13植民地は欧州諸国との貿易で経済的にも自立できる。
- ・13植民地は英本国から独立せよ。

パトリック=ヘンリ『自由か、死か』(1775)

われわれは弱いと、彼らはいふ。あんな恐ろしい敵には対抗できないと。それでは、いつ、われわれは強くなるのか？ 来週か？ 来年か？ われわれの武器がすべて取り上げられ、イギリス兵がすべての家に配備されたあとか？ 何をするか決心もせず、実際に行動もせず、それで力を得られるのか？…そうこうしているうちに、われわれは敵に手足を縛られてしまうのではないのか？…

平和、平和と叫ぶ諸君もいるが、もはや平和はないのだ。…諸君の望みは何か？ 何をしようというのか？ 生命とはそれほどいとおしく、平和はそこまで魅力的なのか？ 束縛と隷従を代償にしてまで、手に入れなければならないものなのか？ とんでもない！ 他の人がどうであれ、私はこうだ。自由を与えよ、さもなくば死を！

トマス=ペイン『コモン=センス』(1776)

私は、もっとも熱心な和解論者に挑戦する。わが大陸がイギリス本国の保護下にあつてたった一つの利益でも得ることができるか示してみよ、と。…我々の穀物は、ヨーロッパのどの市場でも高い値で売れるし、我々の輸入品は、どこでも好きなところで買えるのだ。

しかも、イギリスの保護下にあることによって我々がこうむる害と不利益は、無数にある。…なぜなら、少しでもイギリス本国に服従し、また従属していれば、ヨーロッパの戦争や紛争に我々の大陸が巻き込まれることになる。…ヨーロッパは我々の貿易市場だから、その一部分と片寄った関係を持つべきではない。ヨーロッパの紛争から身を避けることがアメリカの真の利益である。

問 アメリカ独立戦争の要因について、以下の語句を用いて90字以内で説明しなさい。
「代表なくして課税なし」
東インド会社 ポストン

アメリカ独立宣言 The Declaration of Independence on July 4, 1776

我々は自明の真理として、すべての人は平等に作られ、造物主(=神)によって、一定の奪い難い天賦の権利を与えられ、そのなかに生命、自由、幸福の追求の含まれることを信ずる。

We hold these truths to be self-evident, that all men are created equal, that they are endowed by their Creator with certain unalienable Rights, that among these are Life, Liberty and the pursuit of Happiness.

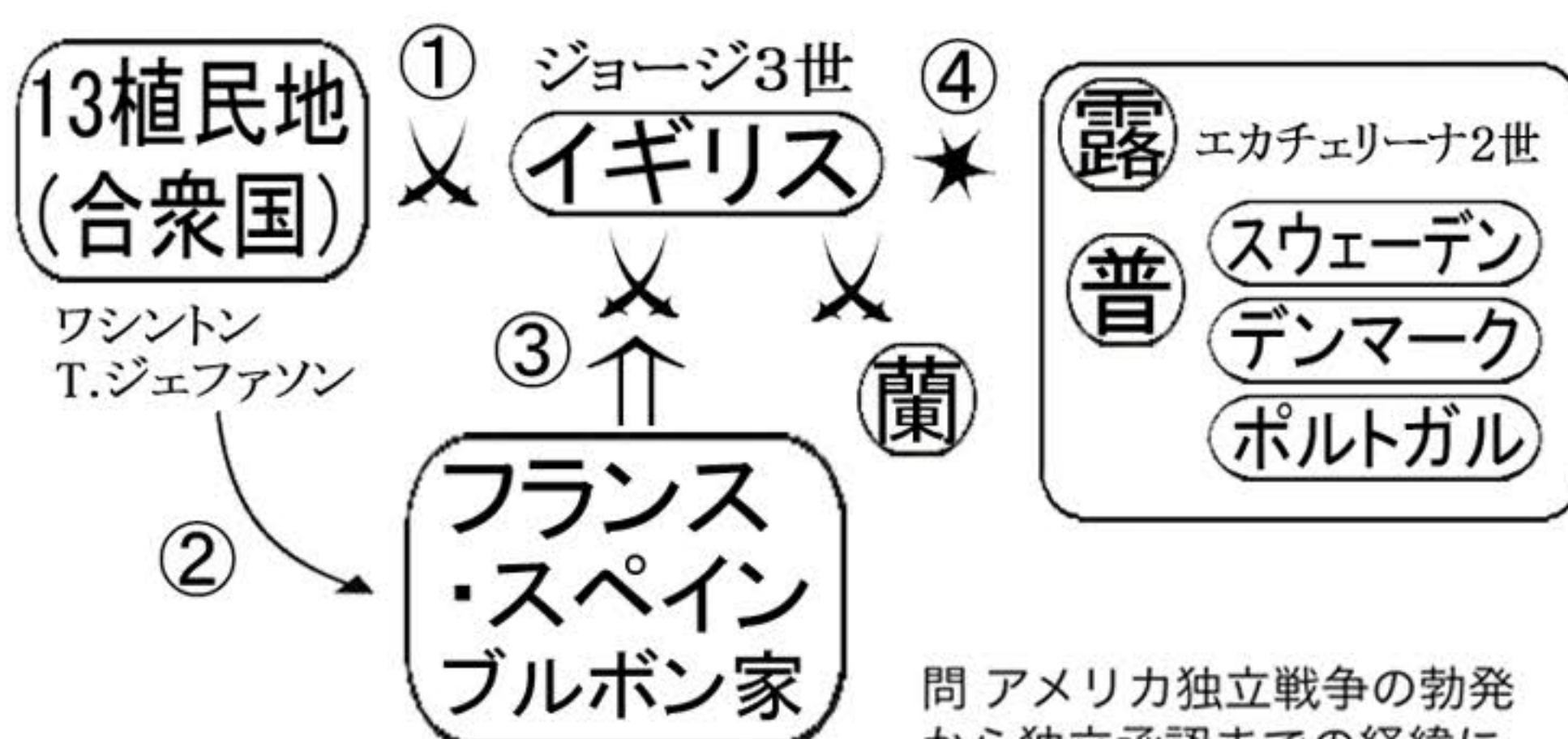
これらの権利を確保するために人類の間に政府が組織されたこと、その正当な権力は被治者の同意に由来すること、いかなる形態の政府といえども、これらの権利を毀損するものとなった場合には、人民はそれを改廃し、…新たな政府を組織する権利を有することを信じる。

that to secure these rights, Governments are instituted among Men, deriving their just powers from the consent of the governed, that whenever any Form of Government becomes destructive of these ends, it is the Right of the People to alter or to abolish it, and to institute new Government...

大英国の現国王の歴史は、これら諸邦(13植民地)の上に、絶対的な暴君制を樹立する目的で行われた、悪行と篡奪の歴史である。これを証するため、公正な世界に向かって事実の提示を行う。
The history of the present King of Great Britain is a history of repeated injuries and usurpations, all having in direct object the establishment of an absolute Tyranny over these States. To prove this, let Facts be submitted to a candid world.

unalienable 譲り渡す(alien)ことのできない usurpation (権力の)強奪、篡奪

米独立戦争期の国際関係



問 アメリカ独立戦争の勃発から独立承認までの経緯について、以下の語句を用いて、120字以内で説明しなさい。
第2回大陸会議 ロシア 義勇兵 ヨークタウン

(解答)

- ① 米独立戦争(1775-83)
- ② 大使⁵_____を派遣。
- ③ 義勇兵が参戦。
④ ラファイエット ⑤ コシューシコ
⇒⁶_____の戦いを機に
仏・スペインが参戦。
- ④⁷_____の結成
…英の海上封鎖に対抗。

5 フランクリン 6 サラトガ 7 武装中立同盟

アメリカ合衆国の成立

- 1 七年 2 砂糖 3 印紙 4 代表 5 茶 6 ボストン茶会
7 フィラデルフィア 8 レキシントン 9 ワシントン
10 パトリオット 11 トマス=ペイン 12 ジェファソン
13 ロック 14 革命(抵抗) 15 連合規約
16 ラ=ファイエット 17 コシューシコ 18 サラトガ
19 フランクリン 20 フランス・スペイン 21 武装中立
22 エカチェリーナ2世 23 ヨークタウン 24 パリ
25 ミシシッピ川以东のルイジアナ 26 フロリダ



▲ レキシントンの戦い(1775)

啓蒙思想

☆政治学

- ¹ 思想：理性の光により迷信・偏見の闇を打破。（⇨フランス革命）
- ² : 『³ 』(1734)で英の立憲王政を称賛、旧体制を批判。
- ⁴ : 『⁵ 』(1748)で三権分立を説く。（⇨合衆国憲法）
- ⁶ : ジュネーヴ出身。自然状態を賛美、文明を批判する独自の思想。
- 『⁷ 』(1755)で私有財産制を攻撃。
- 『⁸ 』(1762)で人民主権を主張。（⇨ジャコバン派）
- ⁹ : 唯物論者。ダランベールと協力して『¹⁰ 』を刊行。

☆経済学

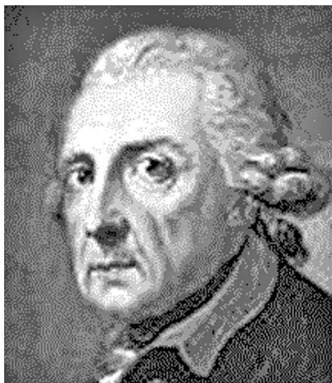
- ¹¹ 主義：国家（国王）が特権商人に独占権を与え、貿易を保護する。
- ⇨エリザベス1世の東インド会社、コルベールの王立マニュファクチュア創設。
レッセ=フェール
- ¹² 主義：農業生産だけが富を生む。経済活動の自由放任を主張。
- ¹³ : 医師・経済学者。『経済表』(1758)で経済の循環過程を説明。
- ¹⁴ : ルイ16世の財務長官として財政再建に着手。（⇨フランス革命）
- ☆¹⁵ 君主：東欧後進国の絶対君主。貴族を抑圧し、市民階級を育成。
- ・普の¹⁶ : “君主は国家第一の下僕”と称し、ヴォルテールを招く。
 - ・奥の¹⁷ と²⁸ : 宗教寛容令。農奴解放は貴族が拒否。
 - ・露の¹⁹ : ヴォルテールと文通。プガチョフ反乱と仏革命により反動化。



ヴォルテール

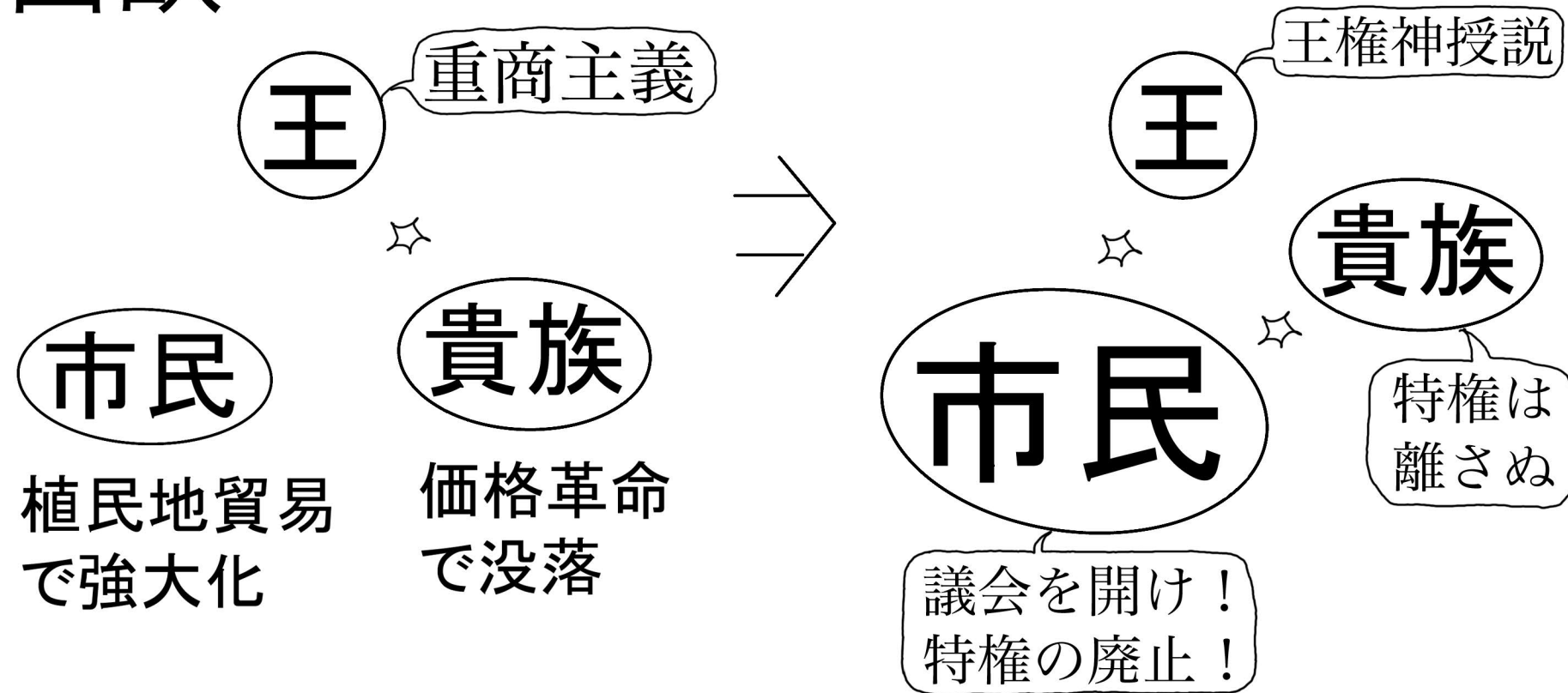
イギリス人は国王と抗争を続けて王権を抑制することに成功し、努力を重ねてあの賢明な政体を確立した地上で唯一の人民である。その体制のもとでは、君主は善を行なうには全能であるが、悪事を働くにはがんじがらめであり、貴族諸侯は力を持つが、尊大でもなく臣下も持たず、人民は政治に関与するが、そのために混乱に陥ることはない。
(ヴォルテール『哲学書簡』)

人民の幸福は、君主のどんな利益よりも重大である。…君主とは、その支配下にある人民の絶対的な主人などではなく、第一の僕にすぎないからである。
(フリードリヒ2世『反マキアヴェリ論』)

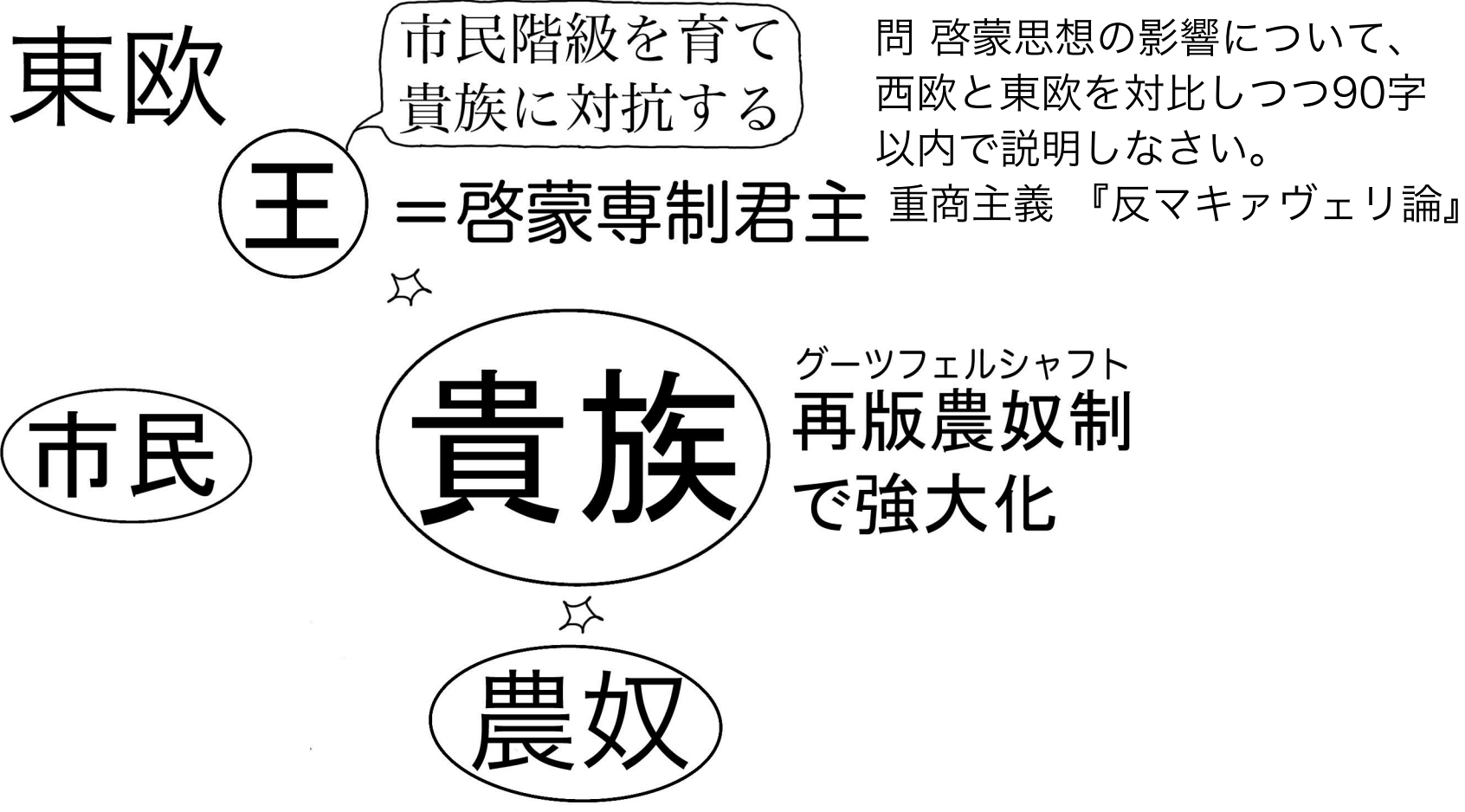


フリードリヒ2世

西欧



東欧

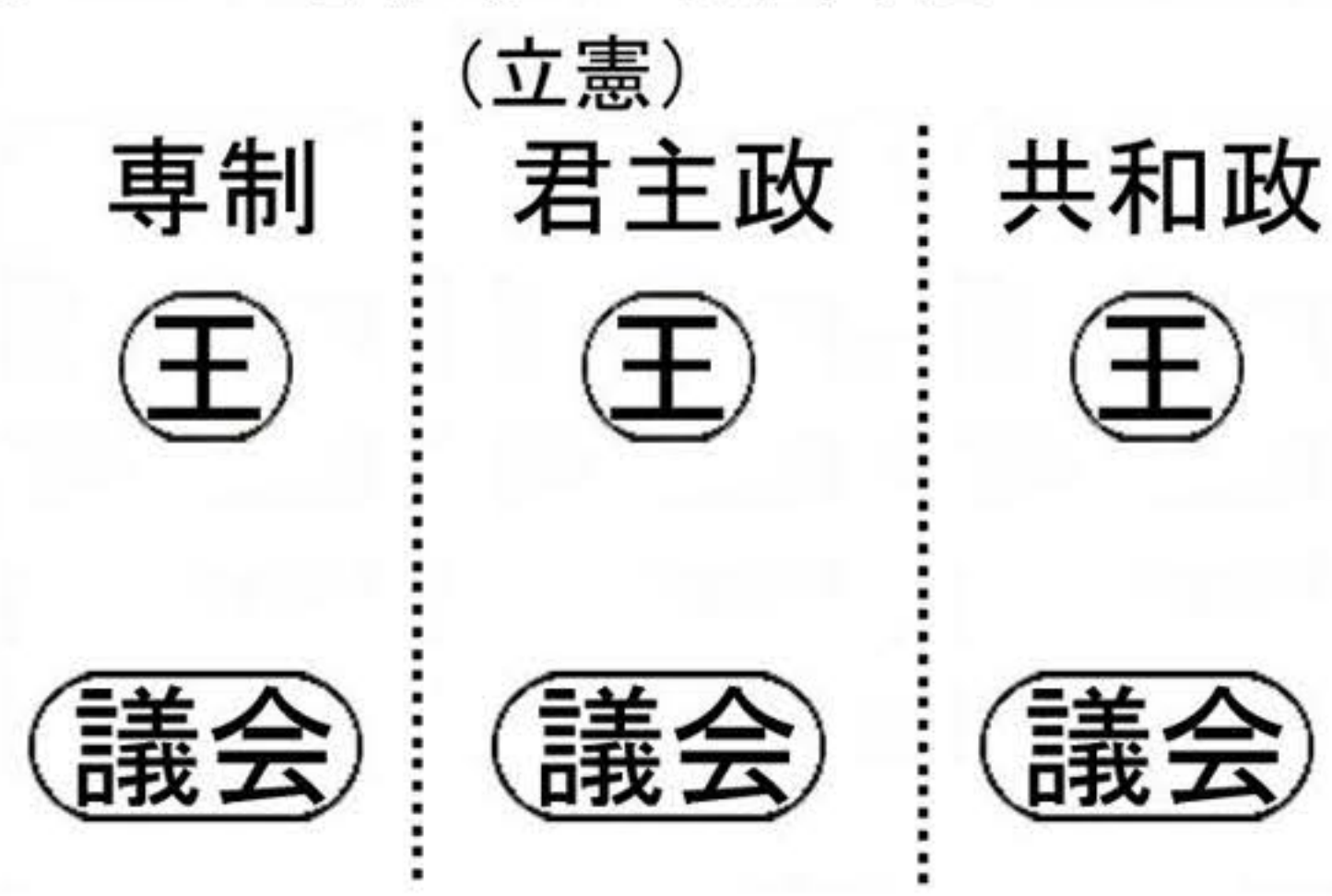


啓蒙思想 1 啓蒙 2 ヴォルテール 3 哲学書簡 4 モンテスキュー 5 法の精神 6 ルソー 7 人間不平等起源論
8 社会契約論 9 デイドロ 10 百科全書 11 重商 12 重農 13 ケネー 14 テュルゴー 15 啓蒙専制君主
16 フリードリヒ2世 17 マリア=テレジア 18 ヨーゼフ2世 19 エカチェリーナ2世

モンテスキュー『法の本質』



モンテスキュー
貴族。地方高等法院のメンバー。『法の本質』で三権分立を説く。



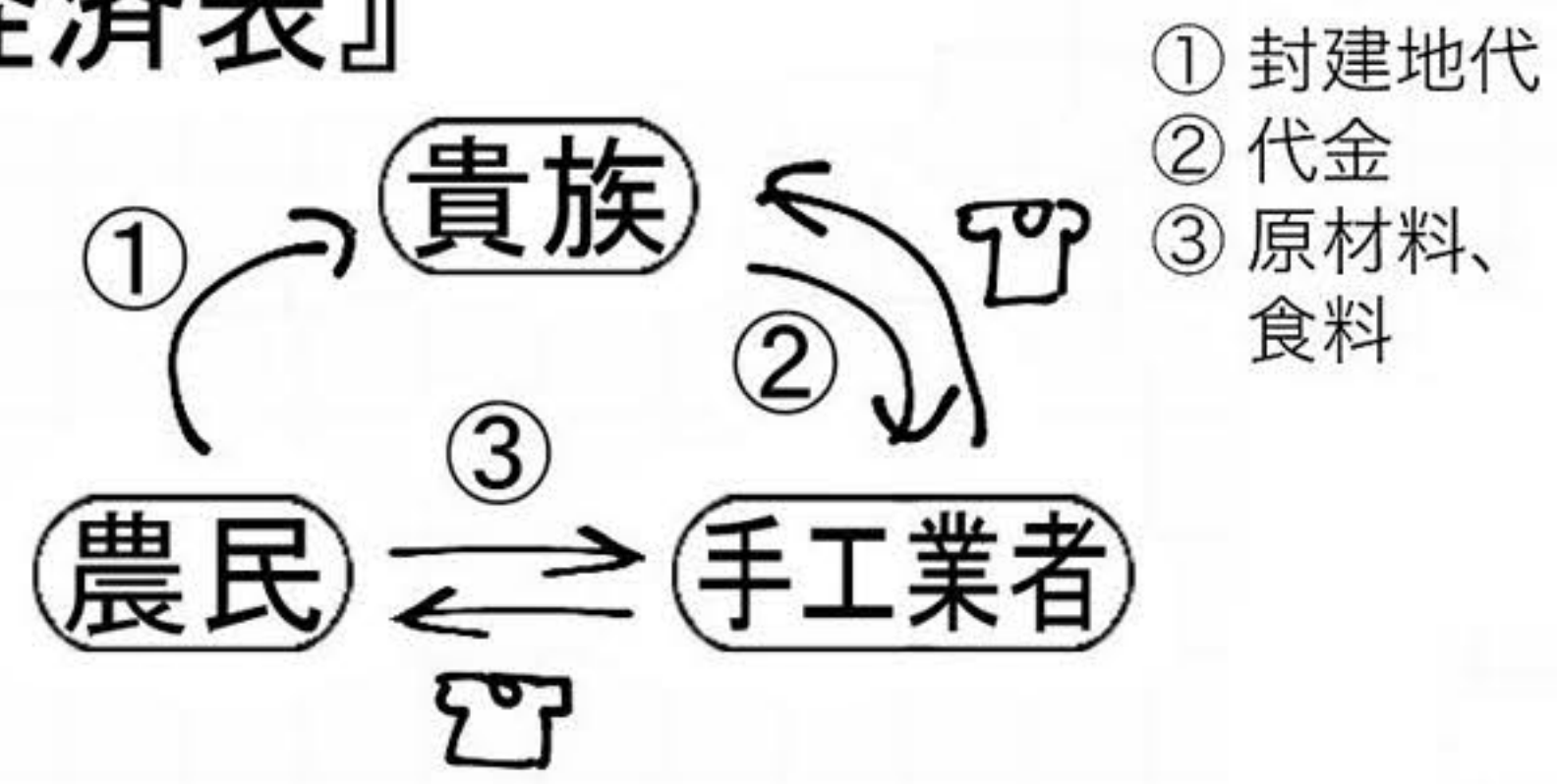
第一に、共和政体とは人民全体あるいは単に人民の一部が主権をもつ政体である。第二に、君主政体とは唯一人が定まった制定法に則して統治する政体である。これに反して第三の専制政体においては、唯一人が法も準則もなく、おのれの意志と気まぐれにより、すべてをひきまわす。…

君主政では法律が国制に具わっており、…政体の原理が君主をおしとどめる。しかし、一市民が並はずれた権力を握った共和政においては、法律はそれを予想しておらず、彼をおしとどめることができないから、このような権力の悪弊はより大きい。(モンテスキュー『法の本質』)

ケネー『経済表』



ケネー
農民出身の医師。ブルボン家に仕える。『経済表』で重農主義を説く。



- ・農業だけが富を生む。農業を振興せよ(重農主義)。
- ・国家は農民に対する規制を撤廃し、減税せよ。
- ・財源不足は、貴族への課税で補え。



ディドロとダランベール

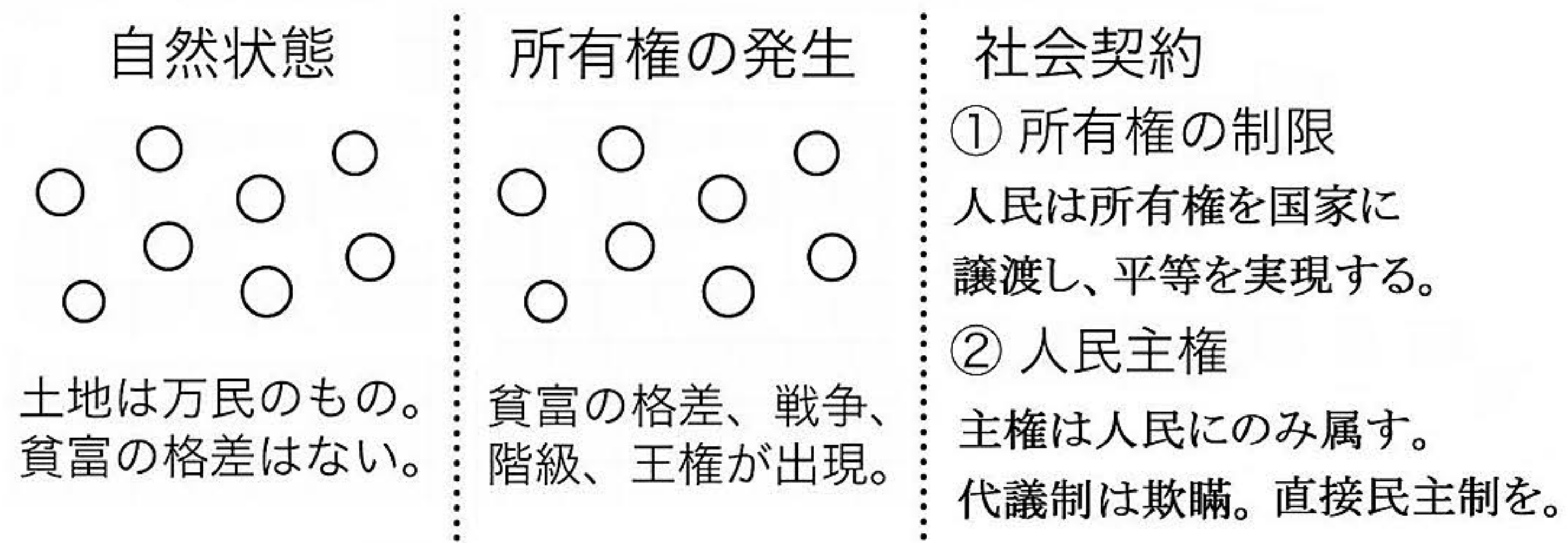


『百科全書』

ルソー『人間不平等起源論』、『社会契約論』



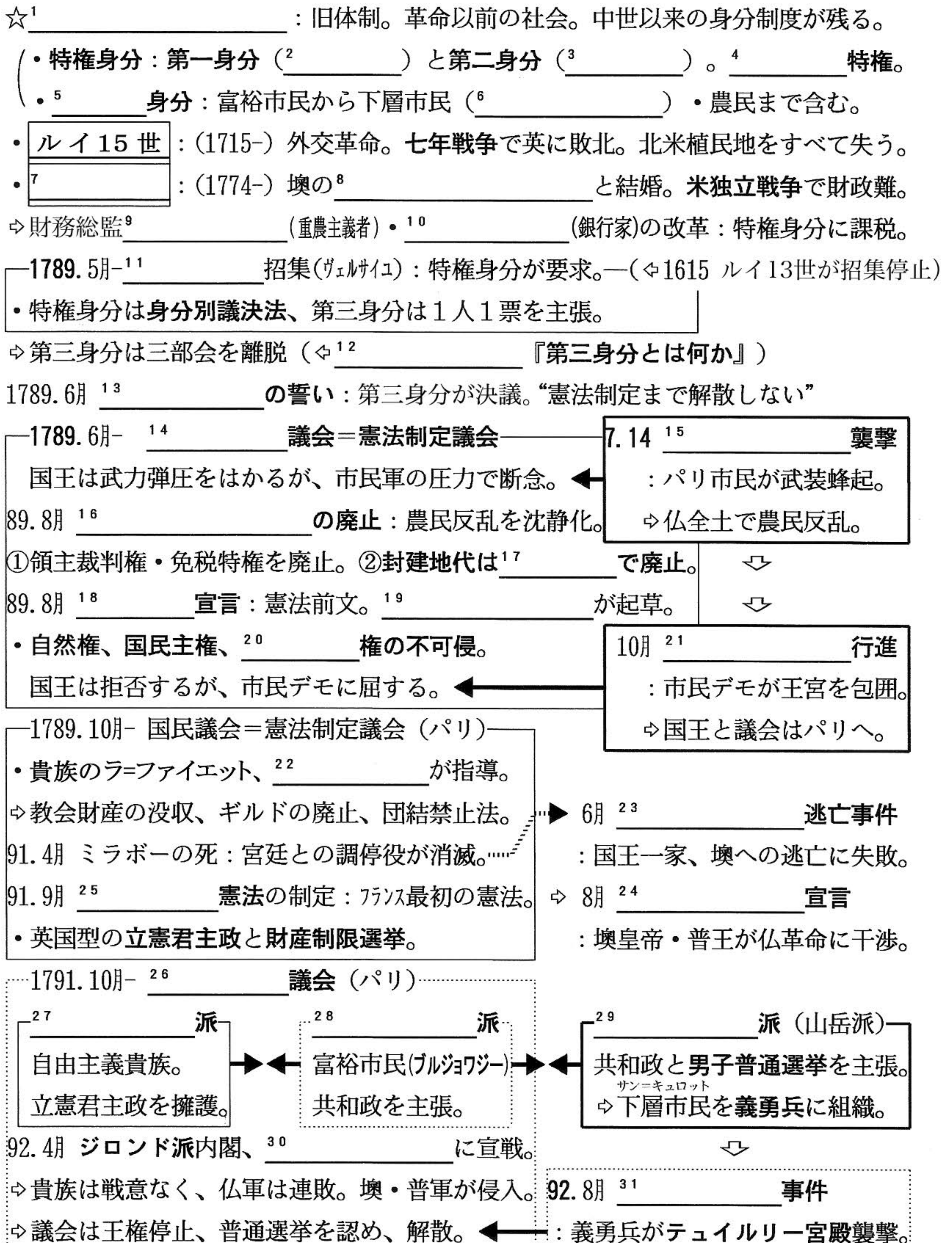
ルソー
ジュネーヴで職人の孤児として成長。所有権の廃止と、人民主権を説く。



土地に囲いをして「これはおれのものだ」と宣言することを思いつき、それを信ずるお人好しの人々を見出した最初の者が、国家の真の建設者であった。杭を抜き、あるいは溝を埋めながら、「こんなペテン師の言うことを聞いてはならない。果実は万民のものであり、土地は誰のものでもない。それを忘れたら、それこそ君たちの身の破滅だ！」と同胞に叫ぶ者があつたら、その人はいかに多くの犯罪と戦争と殺人から、いかに多くの悲惨と恐怖から人類を救うことができたであろう。(ルソー『人間不平等起源論』)

人は、自由なものとして生まれた。しかもいたるところで鎖に繋がれている。…人間が生存するために取りうる手段としては、集合によって…力の総和を作り出すことである。…社会契約がそれに解決を与える。各個人は、人間としては一つの特殊意志を持ち、それは彼が市民として持つ一般意志に反する。…一般意志への服従を拒む者は、共同体全体によって服従を強制される。一般意志は、決して代表されない。…国会議員は一般意志の代表者ではなく、代表者たり得ない。…人民が直接承認しない法はすべて無効であり、法律ではない。イギリスの人民は自由だと思っているが、それはまちがいだ。彼らが自由なのは、議員を選挙する間だけのことで、議員が選ばれるや否やイギリス人民は奴隷となり、無に帰してしまう。(ルソー『社会契約論』)

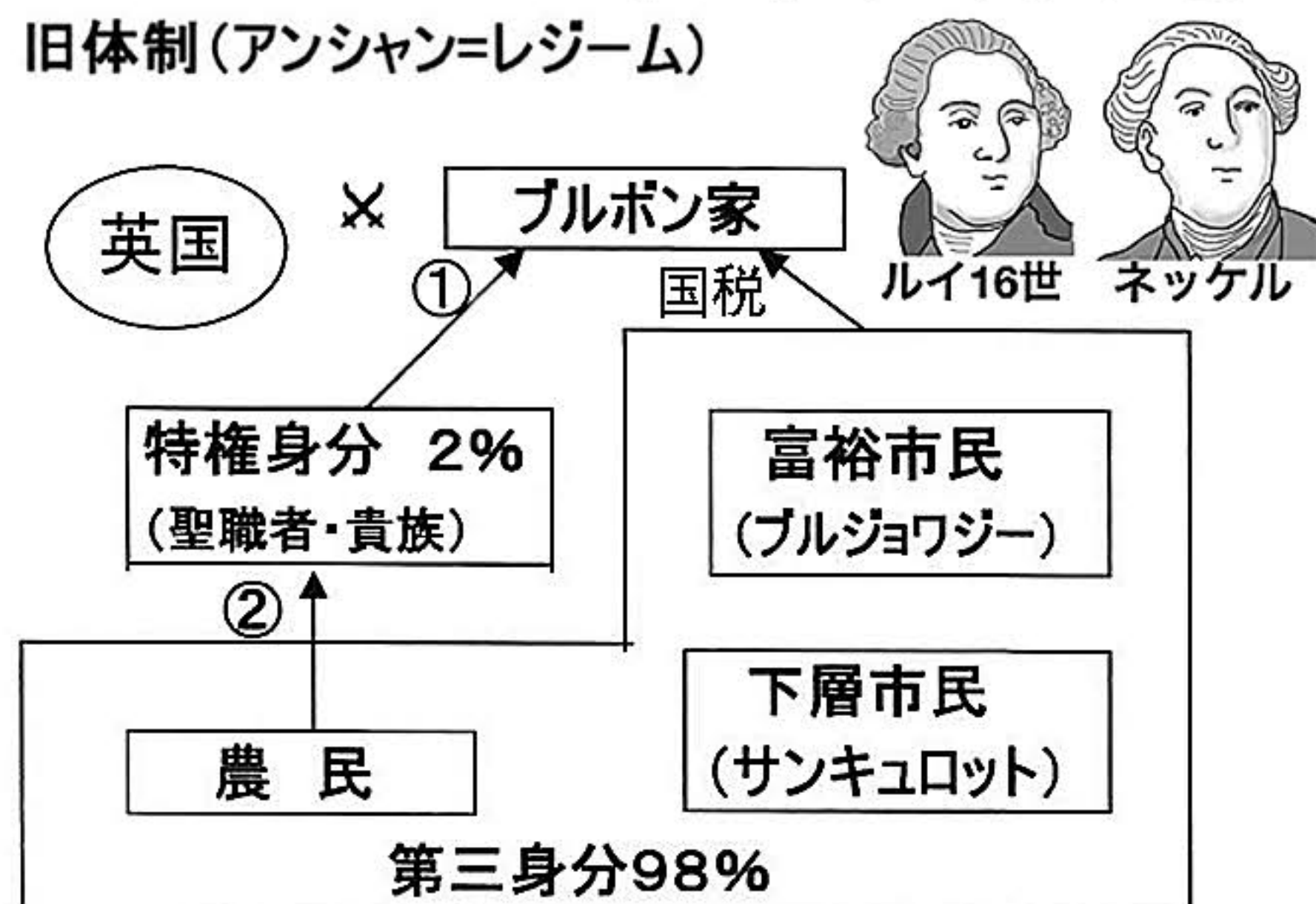
フランス革命①



(解答) 1 アンシャン=レジーム 2 聖職者 3 貴族 4 免税 5 第三 6 サン=キュロット 7 ルイ16世
 8 マリ=アントワネット 9 テュルゴー 10 ネッケル 11 三部会 12 シェイエス 13 球戯場 14 国民
 15 バスティーユ 16 封建的特権 17 有償 18 人権 19 ラ=ファイエット 20 所有 21 ヴェルサイユ
 22 ミラボー 23 ヴァレンヌ 24 ピルニッツ 25 1791年 26 立法 27 フイヤン 28 ジロンド
 29 ジャコバン 30 オーストリア 31 八月十日

フランス革命資料①

旧体制(アンシャン=レジーム)



封建的特権

- ① 王に対する _____
② _____ および領主裁判権

①免税特権

②地代徴収権

シェイエス『第三身分とは何か』

第三身分とは何か。すべてである。しかし、束縛され、
圧迫されたすべてである。…第三身分なくしては、何
事もうまくいかないが、第三身分以外のものがなけれ
ば、すべてが限りなくうまくゆくであろう。…特権身分
は、「真の国民に寄生する偽の国民」にほかならない。

三部会の議決方法

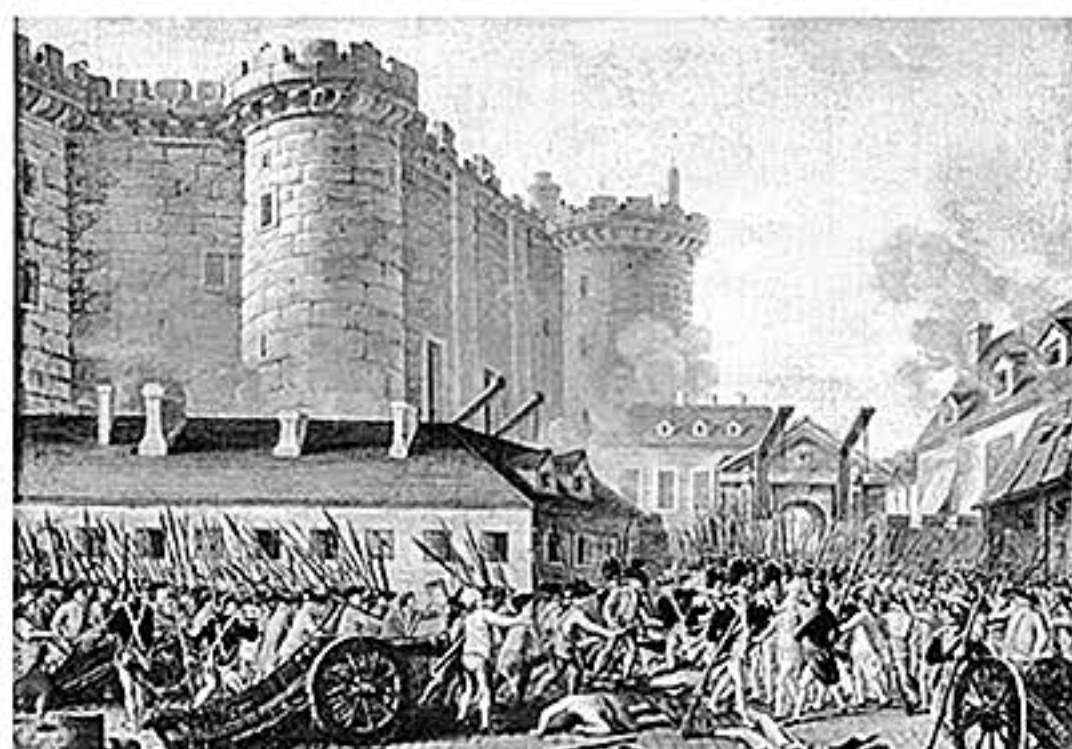
	身分別 (従来の)	一人一票 (ネッケル案)	特権身分への 課税法案に
第一(聖職者)	1票	300票	反対／賛成
第二(貴族)	1票	300票	反対
第三(平民)	1票	600票	賛成



▲ 三部会 (1789.6月 ヴェルサイユ宮殿)



▲ 球戯場の誓い(1789.6.20)



▲ バスティーユ襲撃 (1789.7.14)



▲ ヴェルサイユ行進 (1789.10.5)

人権宣言 (1789.8.26)



ラファイエット

1. 人は、自由かつ権利において平等なものと
して生まれ、存在する。社会的差別は、共同の
利益の上にのみ存在する。
2. 政治的団結の目的は・・・自然権の保全で
ある。これらの権利は、自由、所有権、安全、
圧制への抵抗である。
3. あらゆる主権の原理は、本質的に国民に存
する。いずれの団体、いずれの個人も、国民か
ら明示的に発しない権威を行ない得ない。
17. 所有権は、神聖で不可侵の権利である。

問 フランス革命の要因、人権
宣言採択にいたる経緯につい
て、以下の語句を用いて90字
以内で説明しなさい。
ネッケル ラファイエット
球戯場の誓い

パリ市



自由主義貴族



ルイ16世



マリ=アントワネット



ミラボー



ラファイエット

フランス革命②

1792-1804 第一共和政：国民公会からナポレオンの皇帝即位まで。

1792. 9月¹ (⇄² 選挙)

⁴ 派 派
富裕市民を代表。 → ← ⁵ サン=キュロット 下層市民を代表。

93. 1月 ルイ16世処刑：国民への敵対行為の罪。.....

93. 6月 ⁶ 憲法：共和政と男子普通選挙。

⇨ 革命の激化で実施延期（結局、実施せず）。

93. 6月 ⁴ 派追放：下層市民の圧力。.....

⇨ ⁵ 派独裁：内外の危機に対応。

(¹⁰ 委員会・保安委員会・革命裁判所)

①封建地代の¹¹ 廃止 ⇨ 農民は保守化。

②¹² 令：物価統制で下層民を保護。

③キリスト教の廃止：革命暦（1792年＝共和国1年）

⇨ 理性の崇拜（極左派¹³ の主張）。

④恐怖政治：公安委員¹⁴ の暗殺(93. 7月)

⇨ 新委員¹⁵ が政敵を粛清。

⇨ 左派エベール、右派¹⁶ も犠牲に。

94. 7月 ¹⁷ のクーデタ

：中間派がジャコバン派を粛清。恐怖政府おわる。

95. 8月 ¹⁸ 憲法：共和政・制限選挙復活。

1795- ¹⁹ 政府

徹底的な権力分散で弱体。左右から攻撃される。

・ナポレオン=ボナパルト：²¹ 島出身の軍人。

²² 派の反乱を鎮圧、政府に信頼される。

96- ²³ 遠征：塹軍を破る。.....

98- ²⁴ 遠征：英・オスマン軍を破る。

⇨ アブキール湾で英軍に敗北し、帰国。.....

99. 11月 ²⁵ のクーデタ.....

：ナポレオンが総裁政府を打倒、独裁権を握る。

92. 9月 ³ の戦い

：仏の義勇兵が普軍を撃退。

93- 第1回⁷

：英首相⁸ が仏と断交。

塹・普・露・蘭・スペインと同盟、

仏革命への干渉戦争を開始。



93. 2月 仏、⁹ 制を実施。

⇨ ヴァンデーの農民反乱。

⇨ 英軍の上陸をまねく。

革命暦...1792年を元年とする暦
7月...熱月(テルミドール)
11月...霧月(ブリュメール)

93. 12月 トゥーロン港の攻防戦。

：ナポレオンが英軍を撃退。



戦局好転。革命終結を求める

世論が高まる。

96. 5月 ²⁰ の陰謀

：ジャコバン派残党の蜂起計画が失敗。

(私有財産の廃止を掲げる)

97 カンポ=フォルミオ条約：塹が降伏。

(第1回対仏大同盟が崩壊)

99-02 第2回対仏大同盟

：再び英首相ピットが提唱。

総裁政府を危機に陥れる。

(解答) 1 国民公会 2 男性普通 3 ヴァルミー 4 ジロンド 5 ジャコバン (山岳) 6 1793年
7 対仏大同盟 8 ピット 9 徴兵 10 公安 11 無償 12 最高価格 13 エベール 14 マラー 15 ロベスピエール
16 ダントン 17 テルミドール 9日 18 1795年 (共和国3年) 19 総裁 20 バブーフ 21 コルシカ 22 王党
23 イタリア 24 エジプト 25 ブリュメール18日

フランス革命資料②

フランス革命の2つの流れ



- ・イギリス型の立憲君主政
- ・所有権とは、自然権の一部であり、不可侵の権利。



- ・人民主権 (共和政)
- ・所有権を、共同体(国家)に譲渡せよ



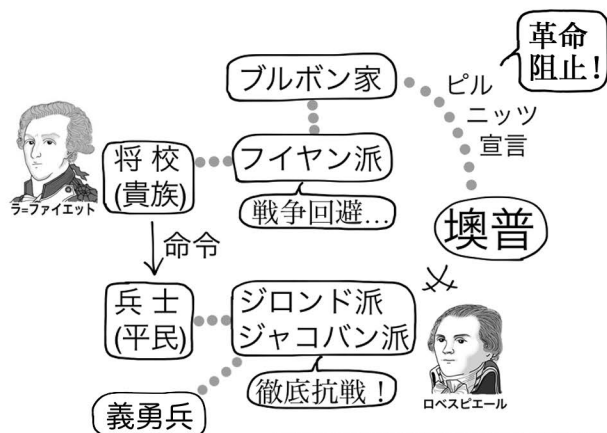
ジェファソン
米独立宣言
(1776)



フランス
人権宣言
(1789)
封建地代の
有償廃止



ジャコバン
派独裁
封建地代の
無償廃止



「ラ=マルセイーズ」(マルセイユ義勇兵の歌)

さあ、祖国の子らよ 栄光の日は来た。
暴君たちの血まみれの旗が 我らに向かって掲げられた。
田園を満たす獐猛な どよめきが聞こえるか。
彼らは子供や妻たちの のどを切り裂きにきたのだ
武器を取れ、市民たちよ。 軍隊を組め。
進め、進め、敵の汚れた血が 我らの田園を満たすまで。

問 人権宣言の採択から共和政樹立までのフランス革命の経緯について、以下の語句を用いて90字以内で説明しなさい。
ヴェルサイユ行進
ヴァレンヌ 8月10日事件

国民公会



ジャコバン派の内紛

左派 ← → 右派



フランス革命と所有権

・人権宣言
・封建地代の有償廃止
(所有権の不可侵)

封建地代の無償廃止
(所有権の制限)

フランス民法典
(所有権の不可侵)



① ☆



② ☆

総裁政府

③ ☆



土地を求め
る農民

保守化

土地を
得た農民

- ① 8月10日事件(1792)
- ② テルミドール9日のクーデタ(1794)
- ③ ブリュメール18日のクーデタ(1799)

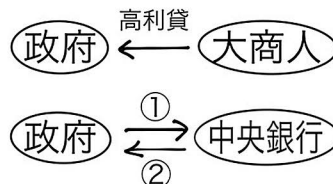


人権宣言

2. 政治的団結の目的は、...自然権の保全である。これらの権利は、自由、所有権、安全、圧制への抵抗である。
17. 所有権は、神聖で不可侵の権利である。

ナポレオン法典

545. 何人も公益上の理由により、また正当な事前の補償なしには所有権の譲渡を強制されない。



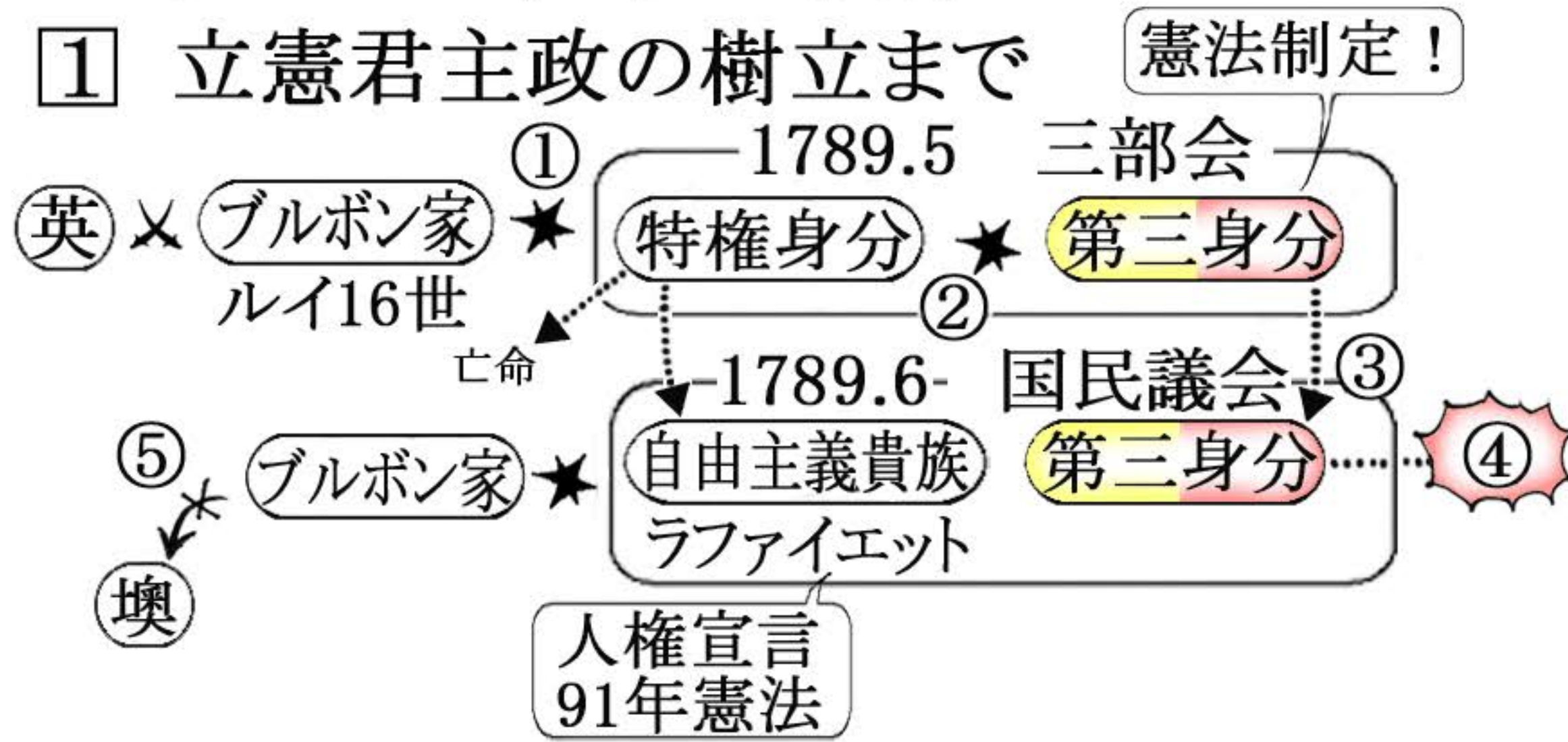
- ① 通貨発行権、国債
- ② 低利融資

問 ラファイエットが目指した革命の目的について、またそれがなぜ挫折したのかについて、以下の語句を用いて、90字以内で説明しなさい。
所有権 立憲君主政
8月10日事件

フランス革命の流れ

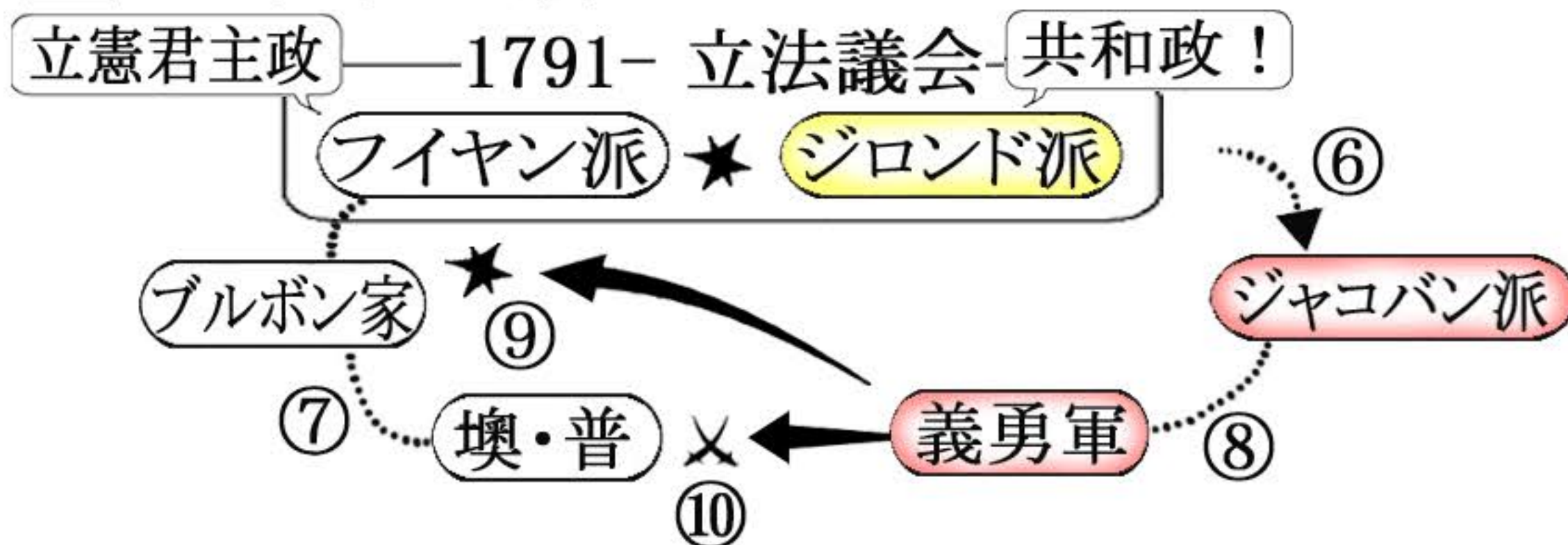
ブルジョワジー 富裕市民 サンキュロット 下層市民

① 立憲君主政の樹立まで



- ① _____ 問題で対立
② _____ 方法で対立
③ _____ の誓い
④ _____ 襲撃(89.7.14)
⑤ _____ 逃亡事件

② 共和政の樹立まで



- ⑥ _____ 選挙で排除
⑦ _____ 宣言で軍事介入
⇒ ジロンド派内閣、対奥宣戦
⑧ _____ を招集
⑨ _____ 事件(92)
⑩ _____ の戦い



▲ 8月10日事件(1792)



▲ テルミドールのクーデタ(1794)

(解答) ①課税 ②議決 ③球戯場
④バスティーユ ⑤ヴァレンヌ
⑥財産制限 ⑦ピルニッツ ⑧義勇軍
⑨8月10日 ⑩ヴァルミー ⑪男子普通
⑫対仏大同盟 ⑬ジロンド派 公安
⑭テルミドール9日 ⑮王党派 ⑯バブーフ
⑰イタリア ⑱エジプト ⑳ブリュメール18日

③ ジャコバン派独裁



- ⑪ _____ 選挙で政権復帰
⇒ 共和政、ルイ16世処刑
⑫ 第1回 _____ 結成
⑬ _____ を追放
⇒ _____ 委員会の独裁
⑭ _____ のクーデタ(94)

④ ナポレオン独裁まで



- ⑮ 財産制限選挙で排除
⑯ _____ の反乱
⑰ _____ の陰謀
⑱ _____ 遠征
⑲ _____ 遠征
⇒ 第2回対仏大同盟結成
⑳ _____ のクーデタ(99)

ナポレオン時代

1799- ¹ (執政) 政府

- ・ **ナポレオン** : 第一¹ に就任、独裁権。

00 ² 銀行創設 : 仏最初の中央銀行。

00 第2次イタリア遠征 : 再び奥軍を破る。

⇒ ³ 協約(コンコルダート)(01) : 教皇と和解。

①カトリックを復活。②教会財産は返還せず。

02 ⁴ の和約 : 英と休戦。.....

⇒ 両軍、占領地から撤退⇒ ナポレオン、終身統領に。

04 ⁵ 法典(民法典)制定

: ⁶ 権を保証⇒ 富裕市民、農民の支持。

99- 第2回対仏大同盟。

00 スペインがルイジアナを仏に売却。

01 **英**ピット内閣が辞職。
: アイルランド問題で国王と対立。

▶ 第2回対仏大同盟が崩壊(02)。

02 仏軍、ハイチ独立運動を弾圧。

03 ルイジアナを米に売却。

1804- 第一帝政

- ・ ⁷ : 国民投票で皇帝に。.....

05 ⁸ の海戦 : 英の⁹ に敗北。英上陸を断念。

05 ¹⁰ の戦い(三帝会戦).....

: 奥・露を破る⇒ ¹¹ 同盟結成(06)

06 イエナの戦い : 普・露を破る。普、降伏。

06 ¹³ 令(ベルリン勅令)

: ¹⁴ との貿易禁止⇒ 仏が欧州市場を独占。

08- スペイン征服(半島戦争) : 封鎖令の強化。

⇒ ブルボン家を追放、兄ジョゼフを王位に。

⇒ スペイン国民はゲリラ戦で抵抗を続ける。

12 ¹⁹ 遠征 : 封鎖令違反を“懲罰”。

⇒ 露(アレクサンドル1世)の焦土作戦と寒気で失敗。.....

13 ²⁰ の戦い(諸国民戦争) ◀.....

: 仏軍が大敗、退却⇒ 同盟軍、パリに入城。

⇒ ナポレオン退位、²¹ 島へ流刑(14)。

15.2月 ナポレオン脱出⇒ 百日天下(3月-6月)

15.6月 ²³ の戦い : 英の²⁴ に敗北⇒ ²⁵ 島流刑。

04 **英**ピット内閣②(-05)

▶ 第3回対仏大同盟(05-06)

に敗北。英上陸を断念。

▶ ¹¹ 同盟結成(06)

: 南西ドイツ16か国を仏の保護下に

⇒ ¹² 帝国が消滅。

07 ¹⁵ 条約

①普領土からポーランドを分離。

⇒ ¹⁶ たいこうこく 大公国を建国。

☆プロイセン改革 : 農奴解放、徴兵制。

- ・ 首相シュタインと¹⁷。
- ・ ¹⁸ 『ドイツ国民に告ぐ』

▶ 第4回対仏大同盟(13)。

: 普・奥が離反、解放戦争へ。

▶ ²² 会議(14-15)

: 戦後処理。領土問題で紛糾。

ナポレオン時代 1 統領(執政) 2 フランス 3 宗教 4 アミアン 5 ナポレオン 6 所有(財産)

7 ナポレオン1世 8 トラファルガー 9 ネルソン 10 アウステルリッツ 11 ライン 12 神聖ローマ

13 大陸封鎖 14 英 15 テイルジット 16 ワルシャワ 17 ハルデンベルク 18 フィヒテ 19 ロシア

20 ライプチヒ 21 エルバ 22 ウィーン 23 ワーテルロー 24 ウェリントン 25 セントヘレナ

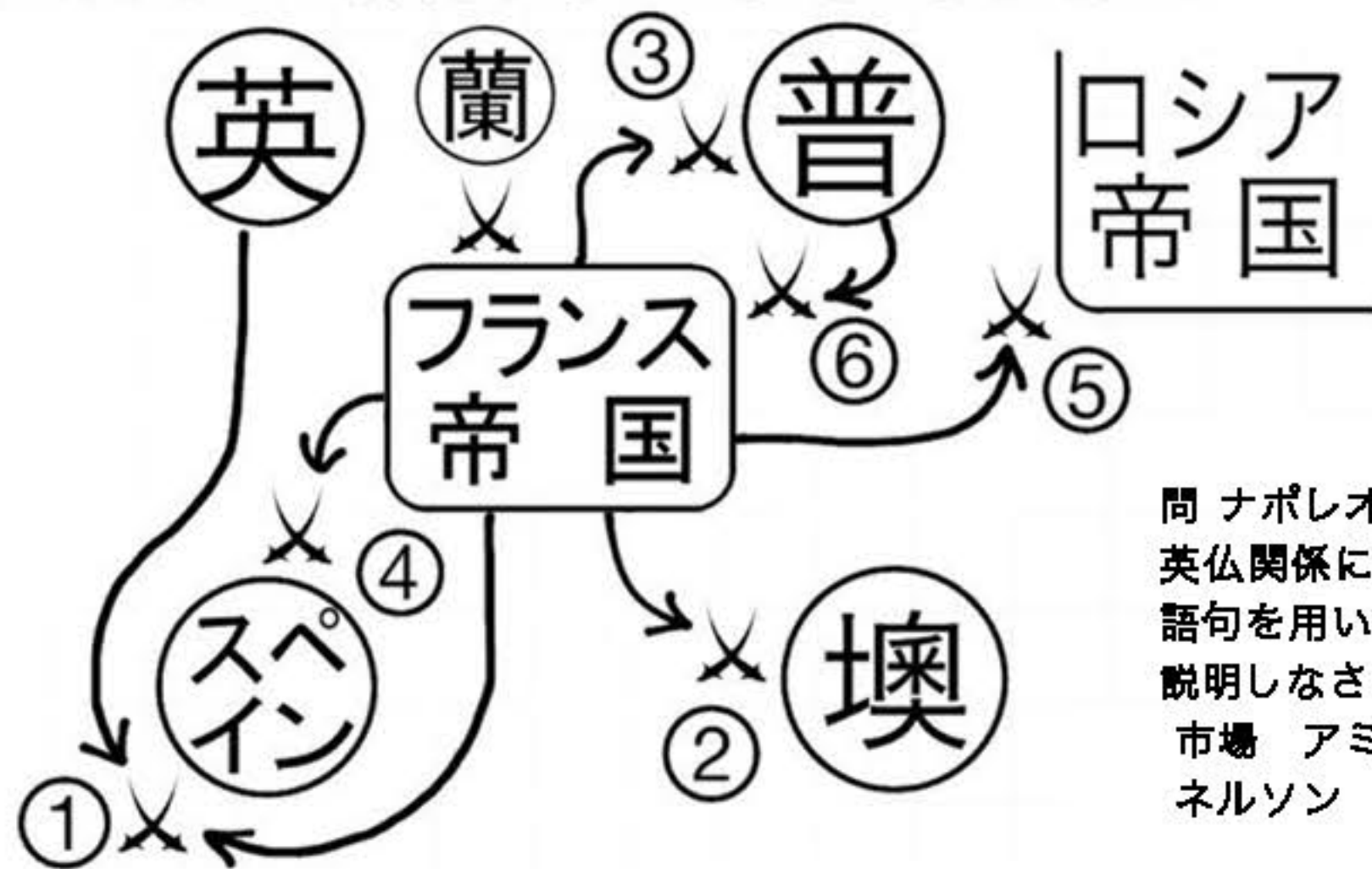
ナポレオン戦争

- ・革命の輸出。欧州を絶対王政から解放する。
- ・英製品を欧州から排除。仏の市場を拡大。



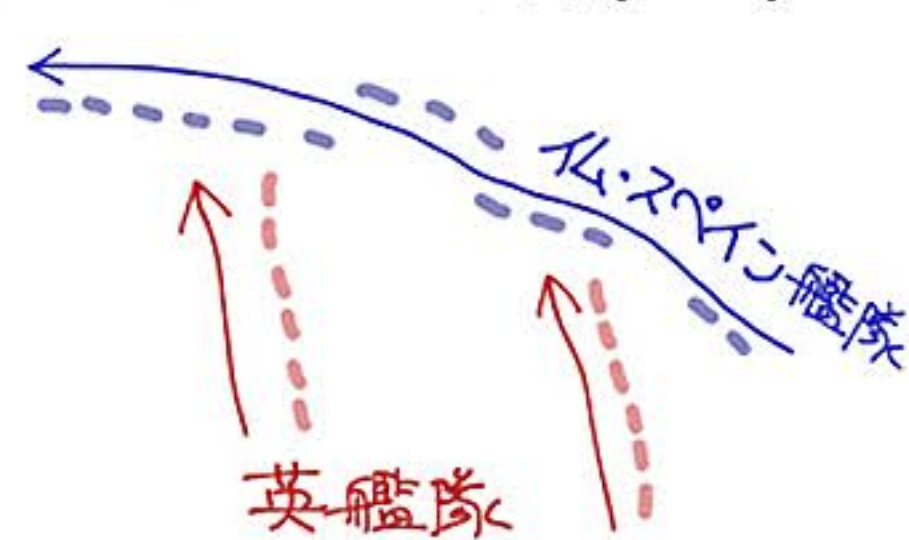
ネルソンとトラファルガー海戦(1805)

- ① トラファルガー海戦(1805)
- ② アウステルリッツの戦い(05)
⇒ライン同盟結成
- ③ イエナの戦い(06)
⇒大陸封鎖令(06) ...英との通商断絶。
⇒ティルジット条約(07)
- ④ 半島戦争(08-)
- ⑤ ロシア遠征(12)
- ⑥ 諸国民戦争(13)

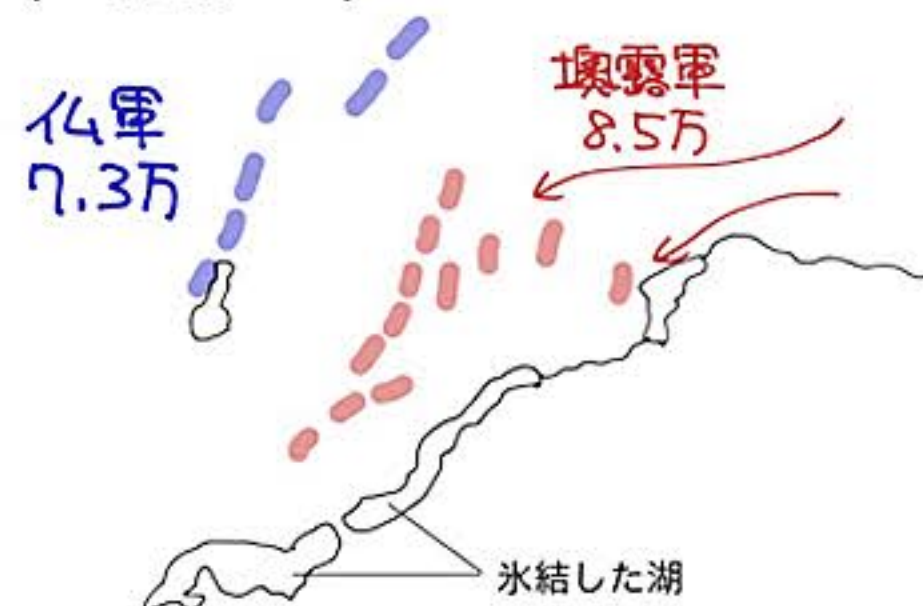


問 ナポレオン戦争前後の英仏関係について、以下の語句を用いて120字以内で説明しなさい。
市場 アミアン
ネルソン ワーテルロー

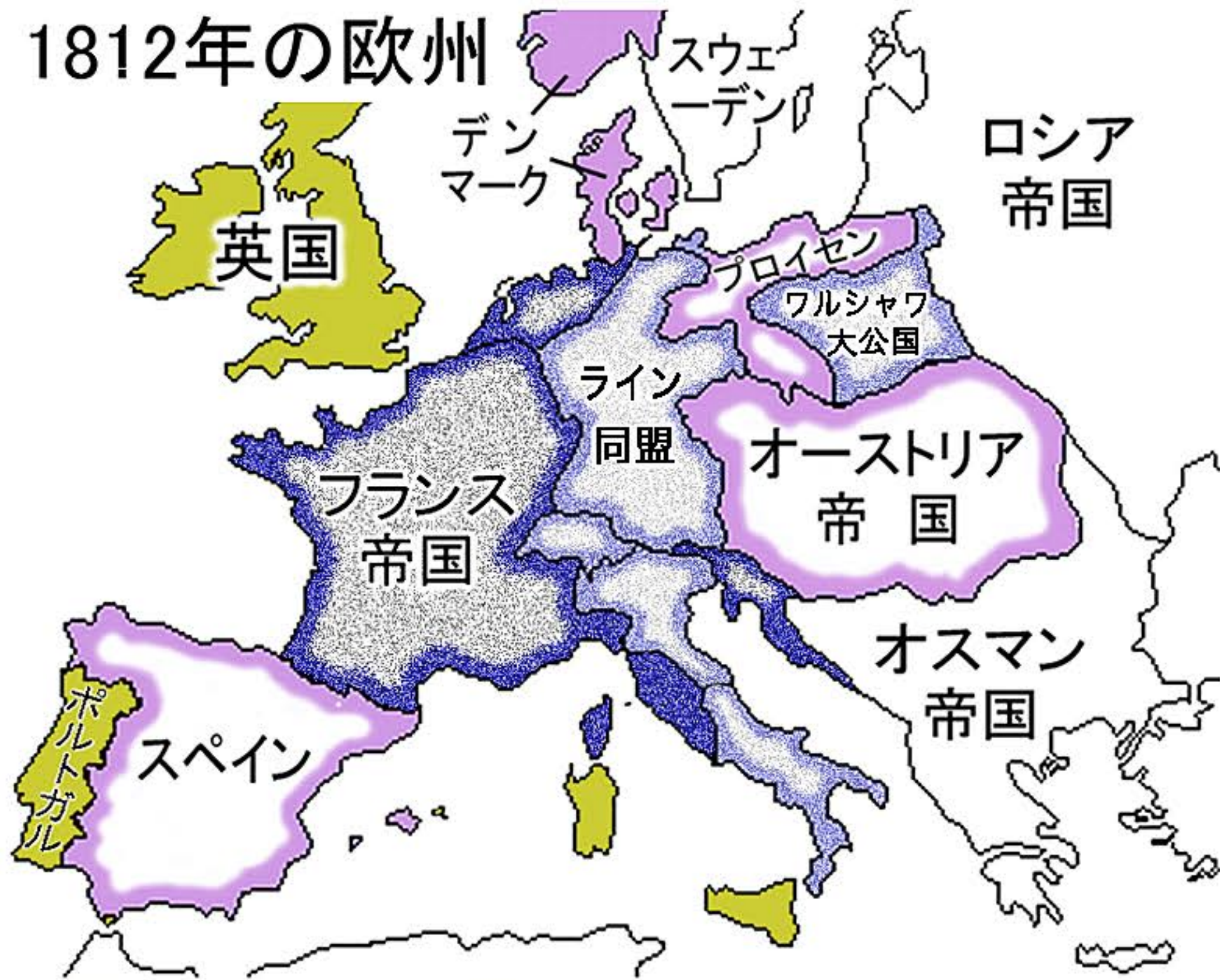
トラファルガーの海戦(1805)



アウステルリッツの戦い
(三帝会戦 1805)



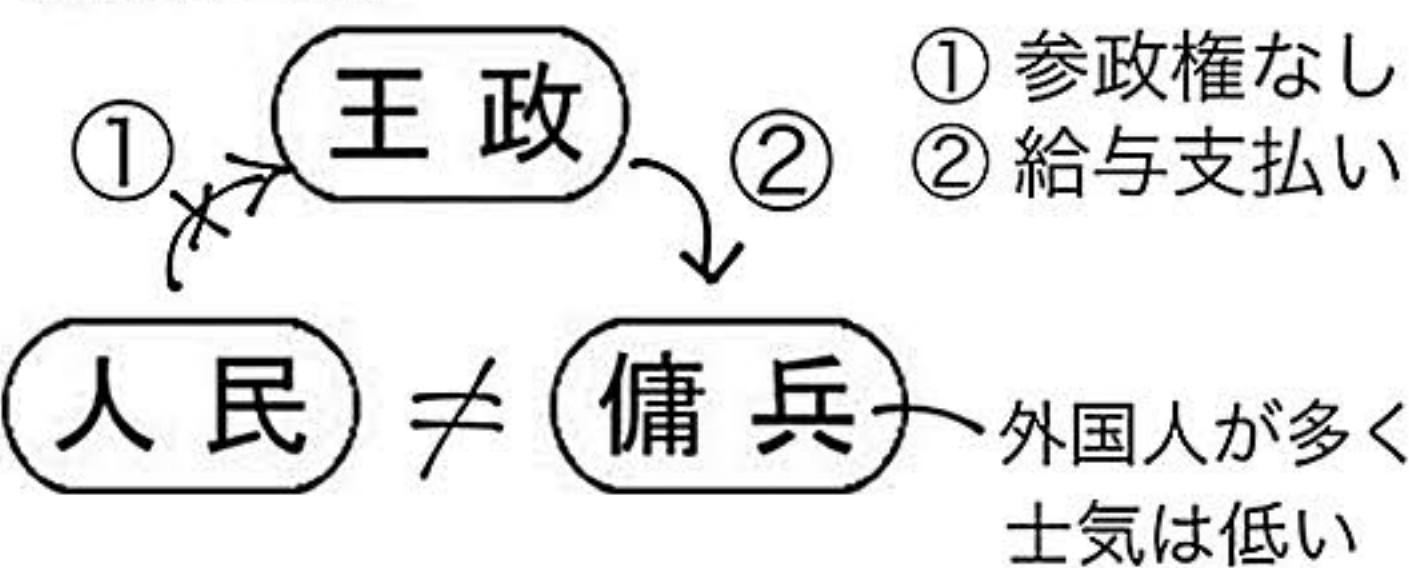
1812年の欧州



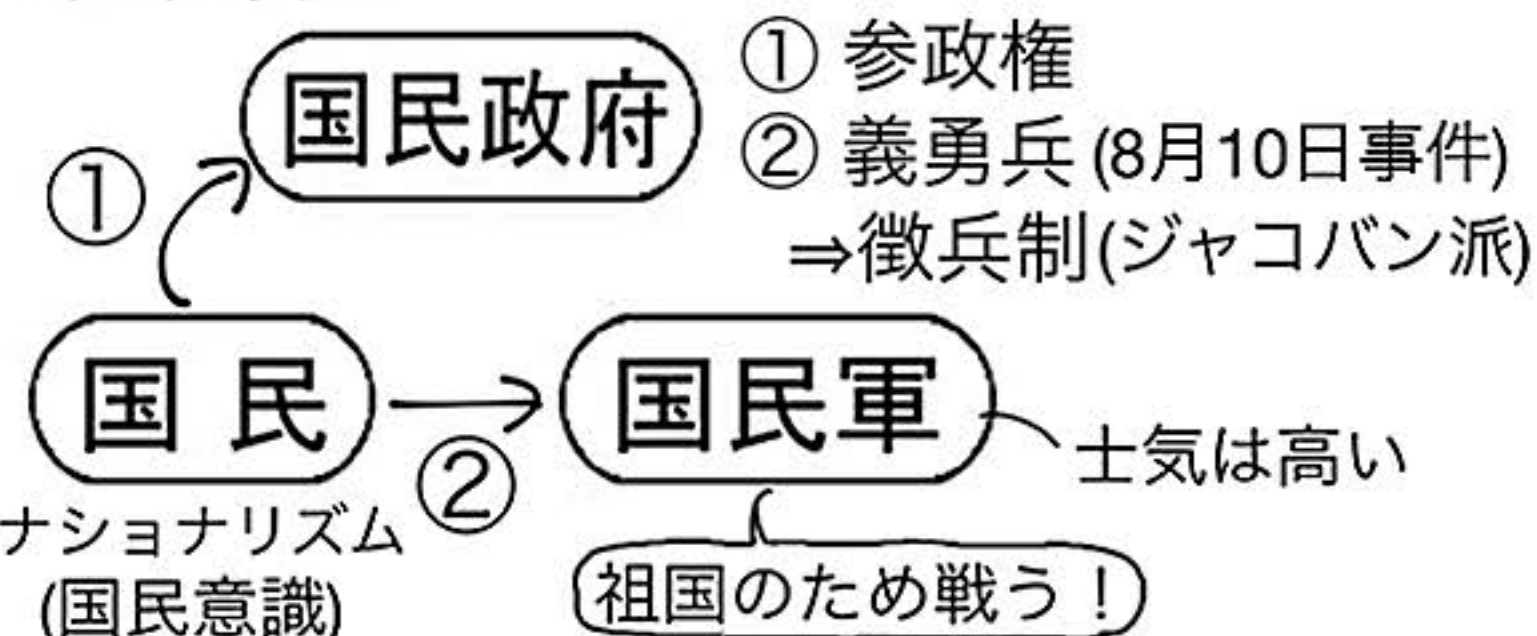
■ 英軍占領下 ■ 仏の従属国 ■ 仏の同盟国

傭兵制から徴兵制へ

(絶対王政)

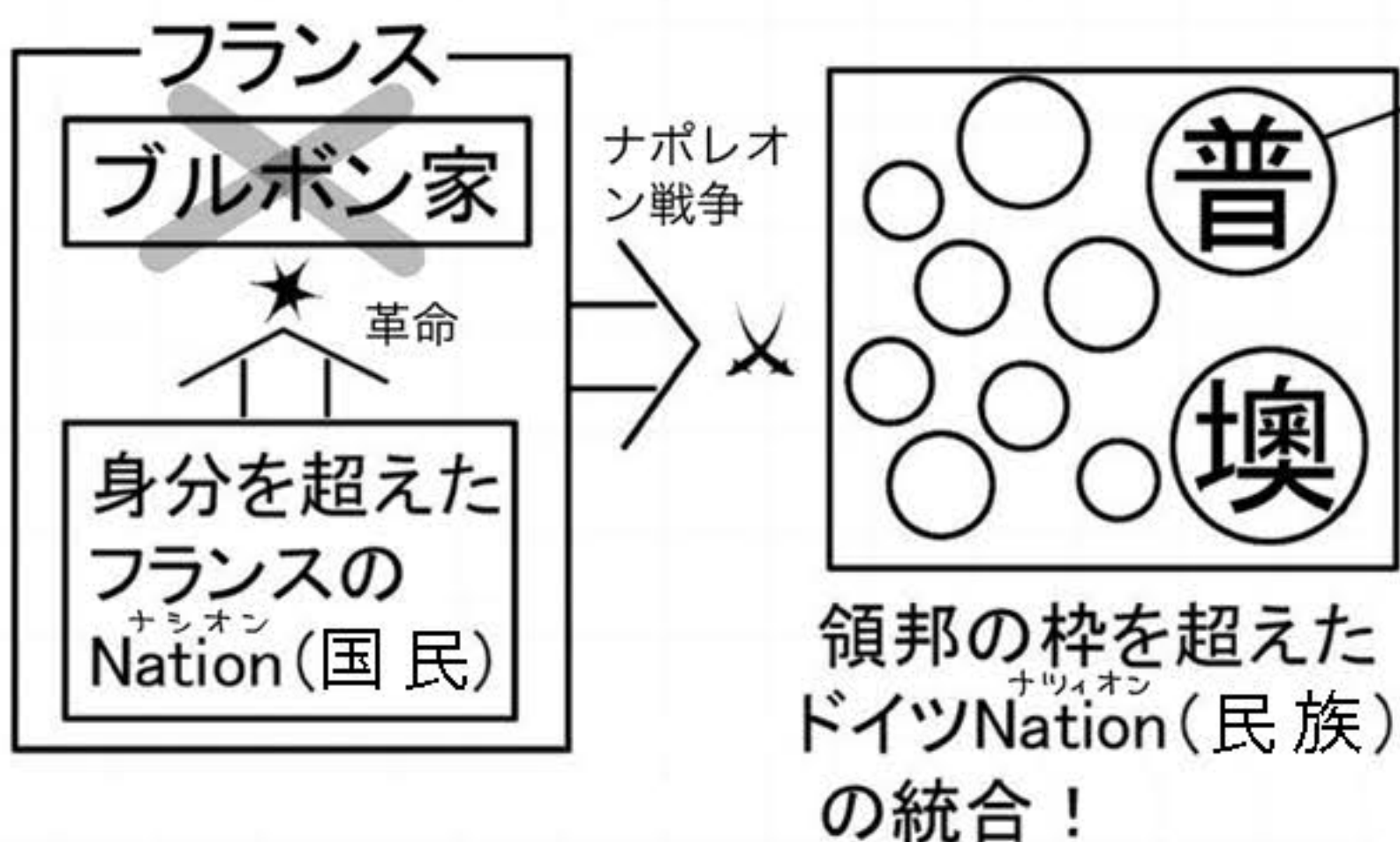


(仏革命後)



問 ナショナリズムの形成について、フランスとドイツを比較して、90字程度で説明しなさい。
ブルボン朝 フィヒテ

2つのナショナリズム



シュタイン・ハルデンベルクの改革

：農奴解放、軍制改革（徴兵制）、ギルドの廃止、ユダヤ人解放。

フィヒテ『ドイツ国民に告ぐ』

ドイツ人と欧州諸国民の幸福を高める第一の手段は、我ら自身の統一と独立を図り、第二の手段は商業上の独立を図ることである。...非征服者である我らがさらに軽蔑を受け、誇りを失うかどうかは、我らの心次第である。武器の戦争は終わったが、今度は思想の戦いが始まる。祖国と友人に対する忠実な愛着心、正義、義務感、市民として、家庭人としての道徳的模範を、新来の客に示そうではないか。

